

2026 年
地域福祉部会
アンケート
結果報告

2026 年 8 月

1. 調査目的

本アンケート調査は、地域福祉に関する意識やニーズを調査し、計画策定の基礎資料とするために実施した。

2. 方法

(1) 調査票の配布方法

町内在住の満 20 歳以上の住民（外国籍含む）から性別・年齢階層別の比率で対象を無作為に 800 人抽出し配布した。

(2) 調査期間

① 発送：2026 年 6 月 15 日（月）

② 回収期限：2026 年 7 月 10 日（金）

3. 調査票配布先

調査票は、下記の表のとおり、性別・年齢階層別に対象を抽出し、配布した。

年齢階層	性別		全体
	男	女	
20 代	57	46	103
30 代	53	38	91
40 代	80	75	155
50 代	64	63	127
60 代	65	64	129
70 代	57	59	116
80 代以上	31	48	79
全体	407	393	800

4. 調査票

調査票は、報告書末に掲載した。

5. 結果

(1) 調査票回収率

調査票を返送した者は 346 人であった。

よって、調査票の回収率は、 $346 \text{ 人} / 800 \text{ 人} = 43.3\%$ であった。

(2) 解析対象者

回収した 346 人分の調査票のうち、性別または年齢についての情報が欠損している者（無回答）が 1 人いた。

欠損者を除いた 345 人（回収率 43.1%）を解析対象者とした。

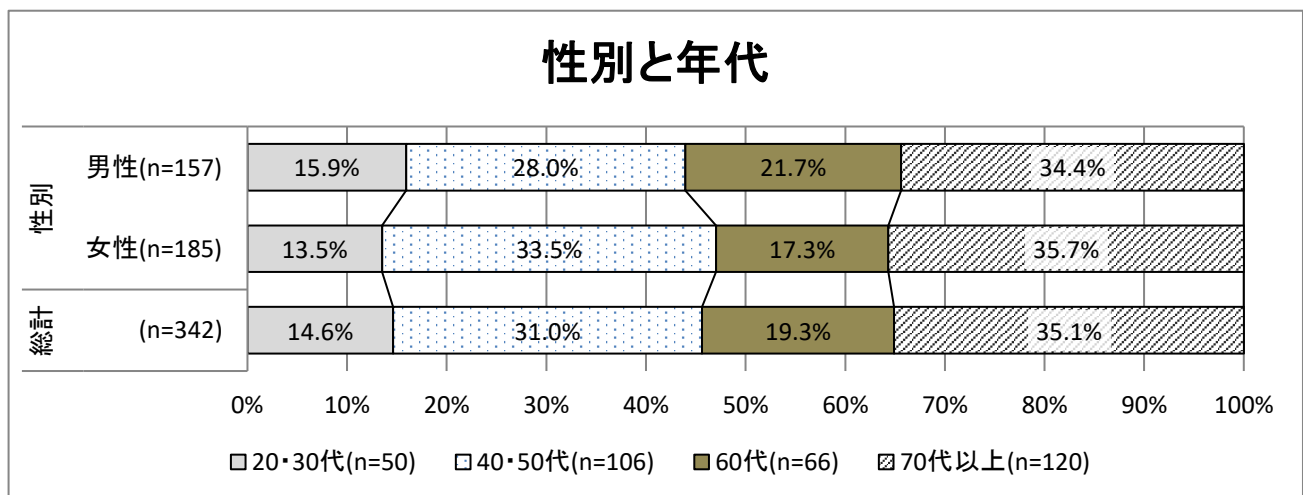
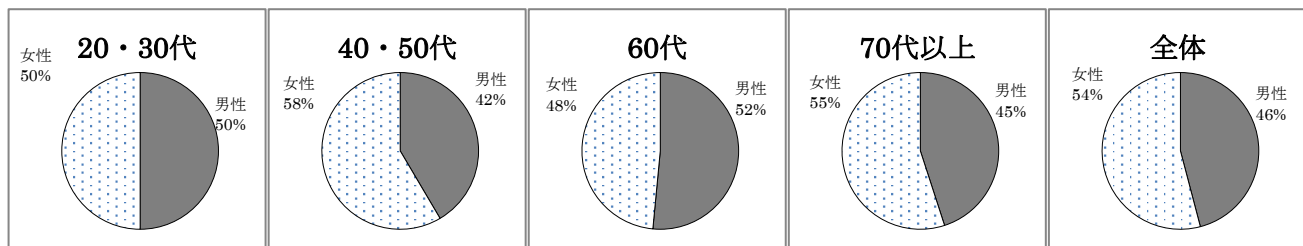
年代を 20・30 代、40・50 代、60 代、70 代以上の 4 階層に分け解析を行った。

問 1 居住区

	回答者
沢	75
大出	24
八乙女	9
下古田	4
上古田	7
中原	10
松島	88
木下	70
富田	4
中曽根	4
三日町	7
福与	14
長岡	9
南小河内	11
北小河内	9
無回答	1

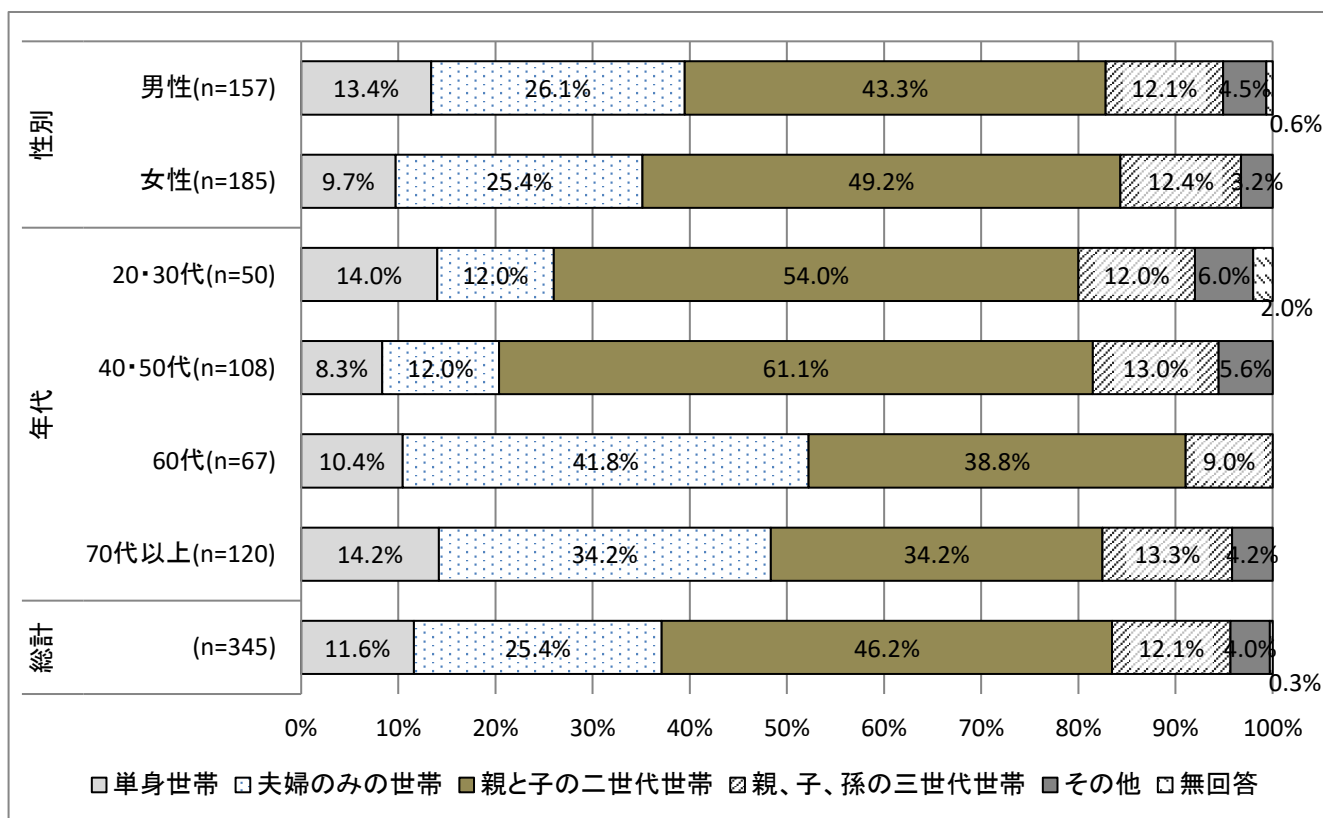
性別		年代			
男性	女性	20・30代	40・50代	60代	70代以上
41	33	12	19	13	31
12	12	3	3	3	15
3	6	1	2	2	4
2	2	0	1	2	1
4	3	1	0	1	5
4	6	3	1	3	3
32	55	14	35	15	24
31	38	7	24	18	21
3	1	1	2	0	1
2	2	1	2	0	1
1	6	2	4	0	1
7	7	1	4	5	4
5	4	1	2	1	5
5	6	2	4	2	3
5	4	1	5	2	1
0	0	0	0	0	0

問 2 性別、問 3 年代



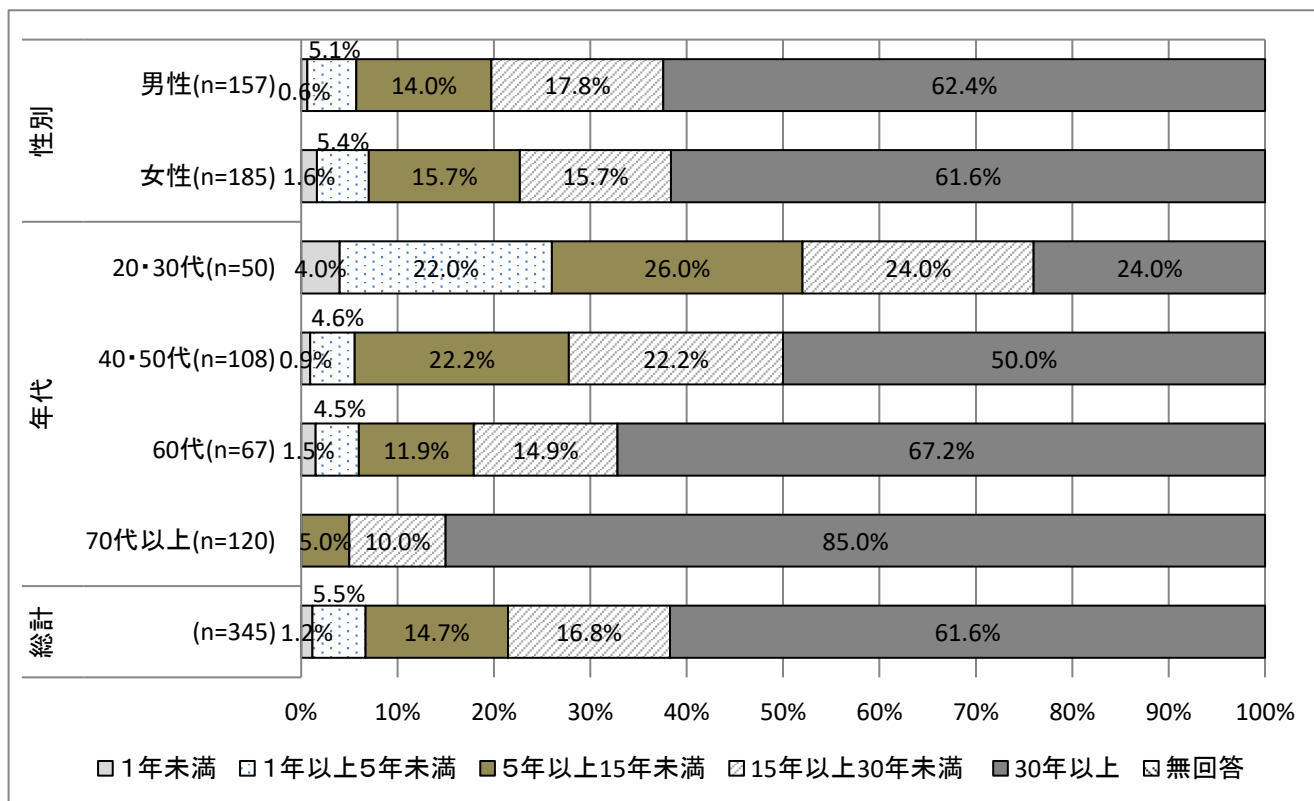
年代を 20・30 代、40・50 代、60 代、70 代以上の 4 階層に分け、年代別の傾向を解析した。
 本アンケート解析対象者は、性別では女性がやや多い。年代別では 70 代以上が 35% で最も多く、次いで 40・50 代が 31%、60 代が 19%、20・30 代が 15% となっている。

問4 世帯構成



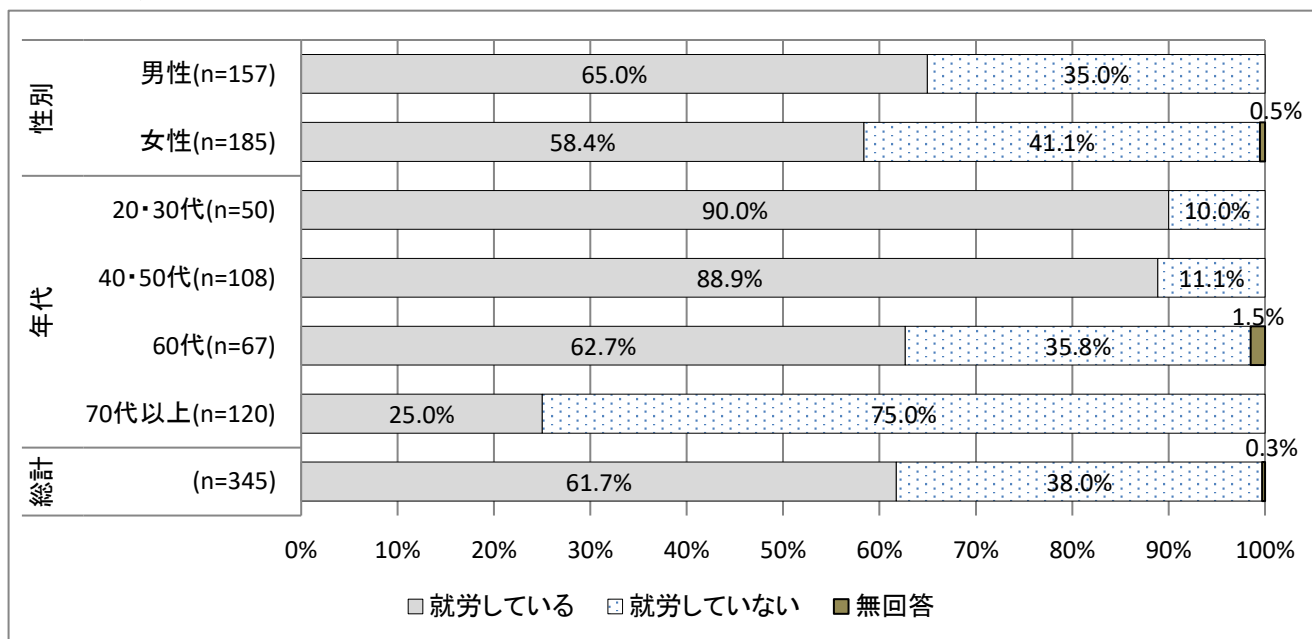
全体では「親と子の二世帯世帯」が46%で最も多く、「夫婦のみの世帯」が25%で続く。20・30代、40・50代では二世帯世帯が多く、60代では夫婦のみ世帯が42%、70代以上では夫婦のみ世帯と二世帯世帯がともに34%となっている。

問5 町内での居住年数



全体では「30年以上居住している」が62%を占めている。年代が上がるほど「30年以上」の割合が高く、70代以上では85%となっている。男女差はほとんど見られない。

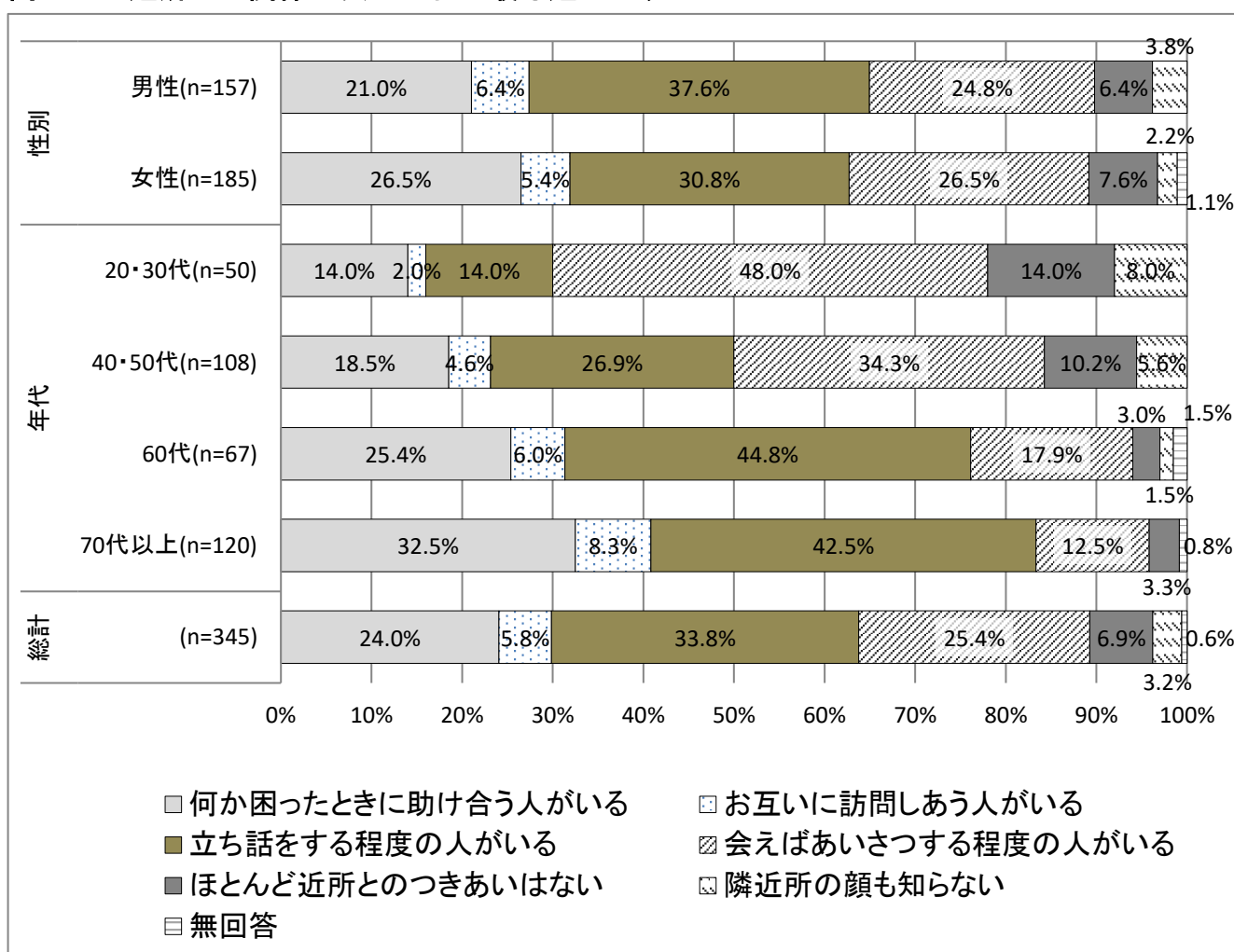
問 6. 就労状況



全体の 62% が就労している。男性 65%、女性 58% で、男性のほうがやや高い。

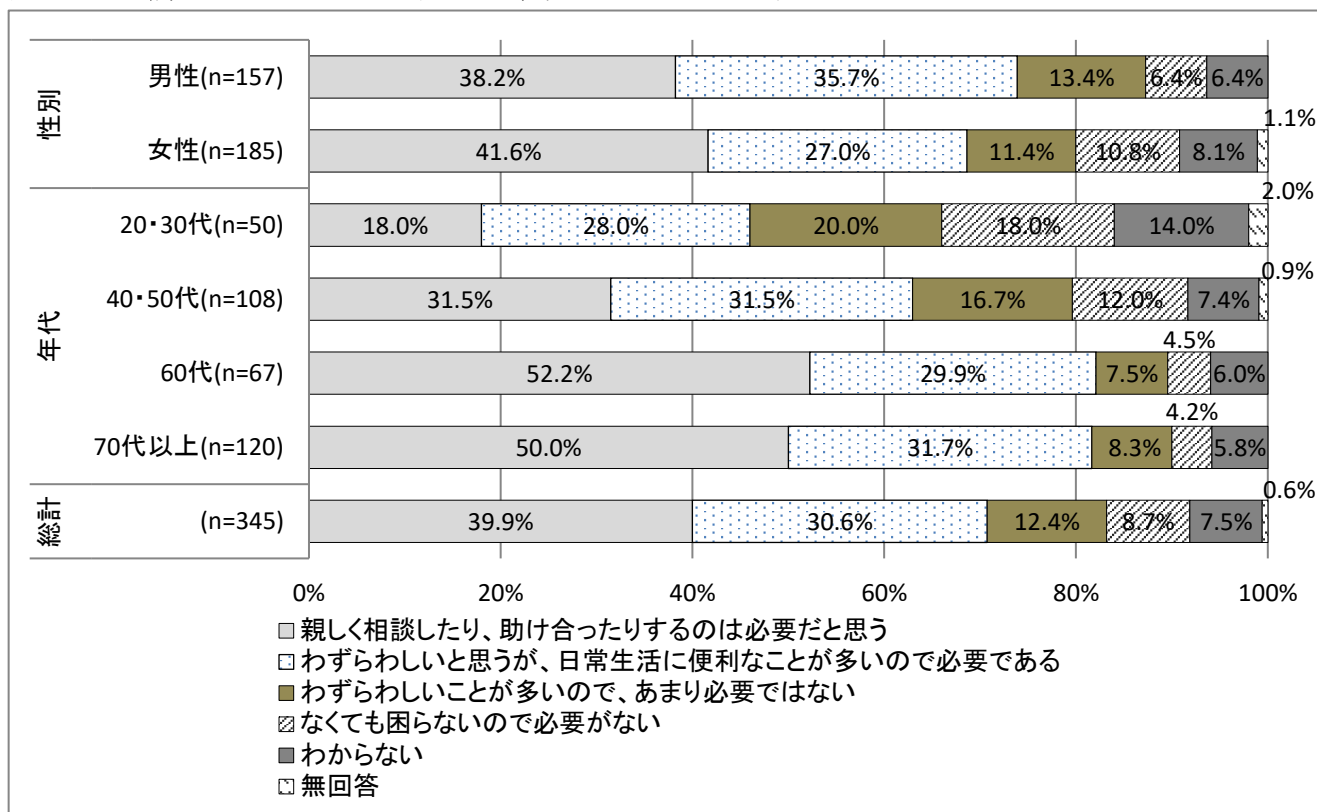
20・30 代は 90%、40・50 代は 89% が就労しており、60 代では 63%、70 代以上では 25% となっている。

問 7 ご近所との関係は次のどれに最も近いですか



全体では「立ち話をする程度の人がある」が 34% で最も多く、「会えばあいさつする程度の人がある」25%、「何か困ったときに助け合う人がいる」24% の順となっている。年代が上がるにつれて「助け合う人がいる」割合が高くなる。

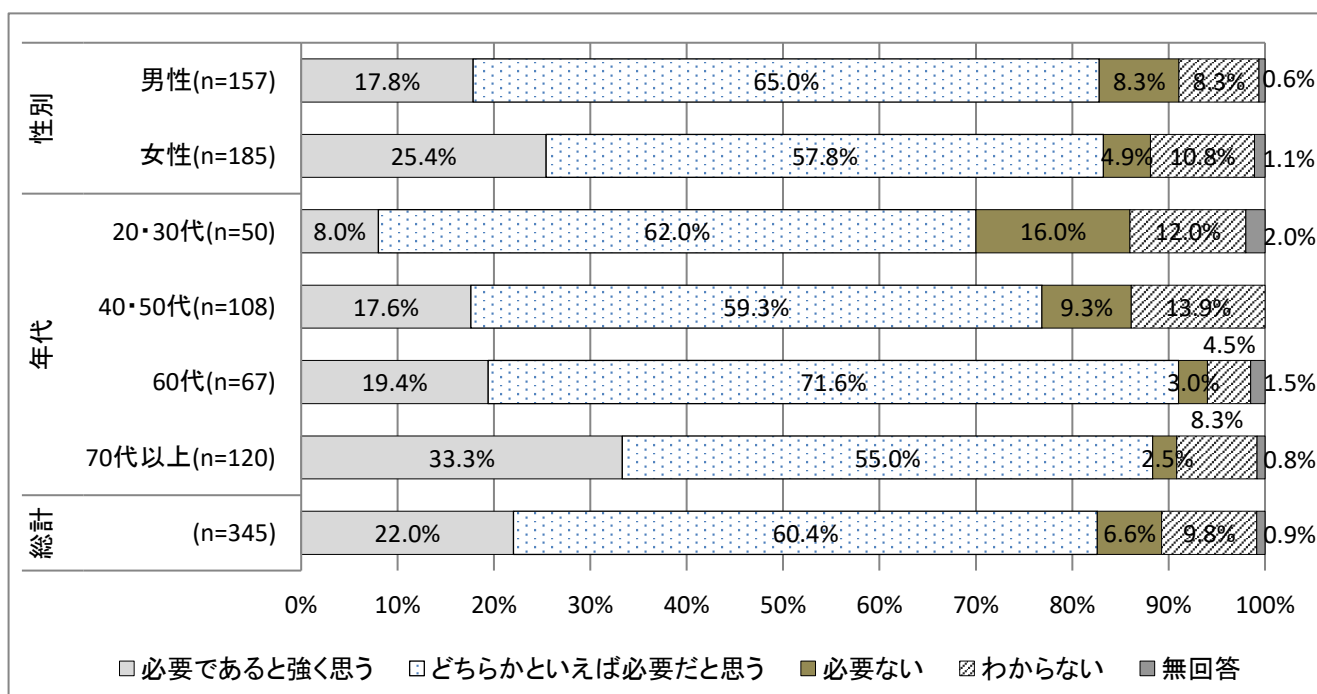
問8 ご近所とのつきあい方の考え方は、次のどれに近いですか



全体の約40%が「親しく相談したり、助け合ったりするのは必要だと思う」と回答している。

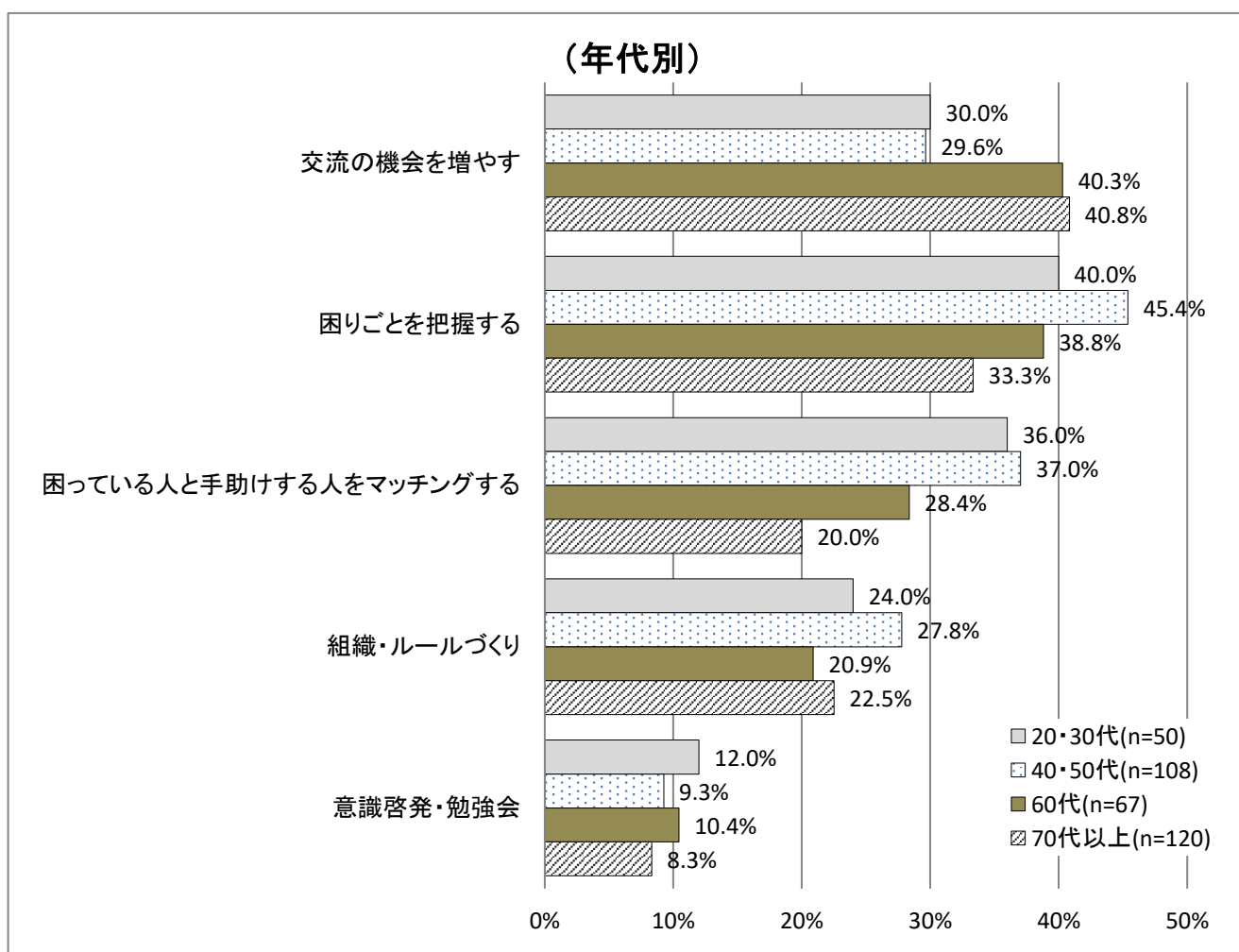
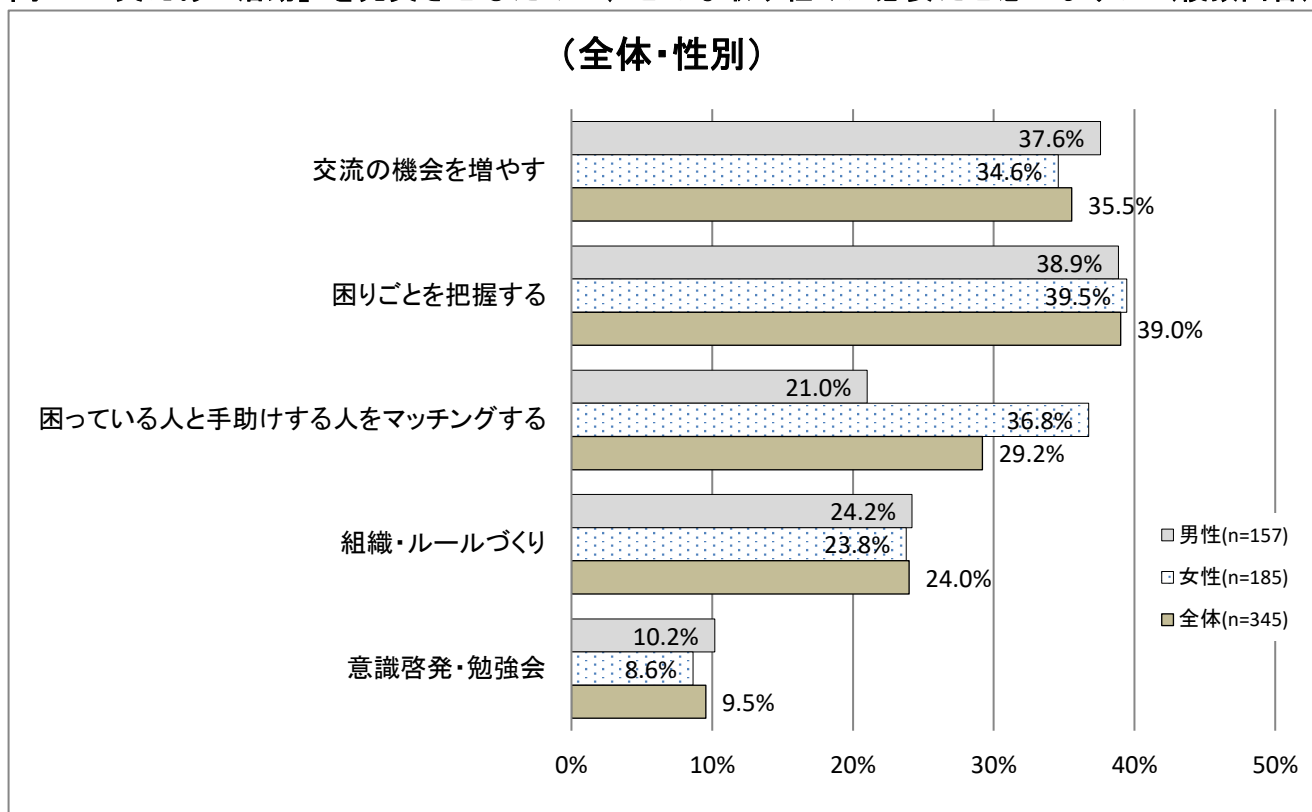
60代、70代以上では約5割が「親しく相談したり、助け合ったりするのは必要」としている一方、20・30代では18%であり、近所づきあいに対する考え方には年代差が見られる。

問9 地域やご近所での「支えあい活動」は必要だと思いますか



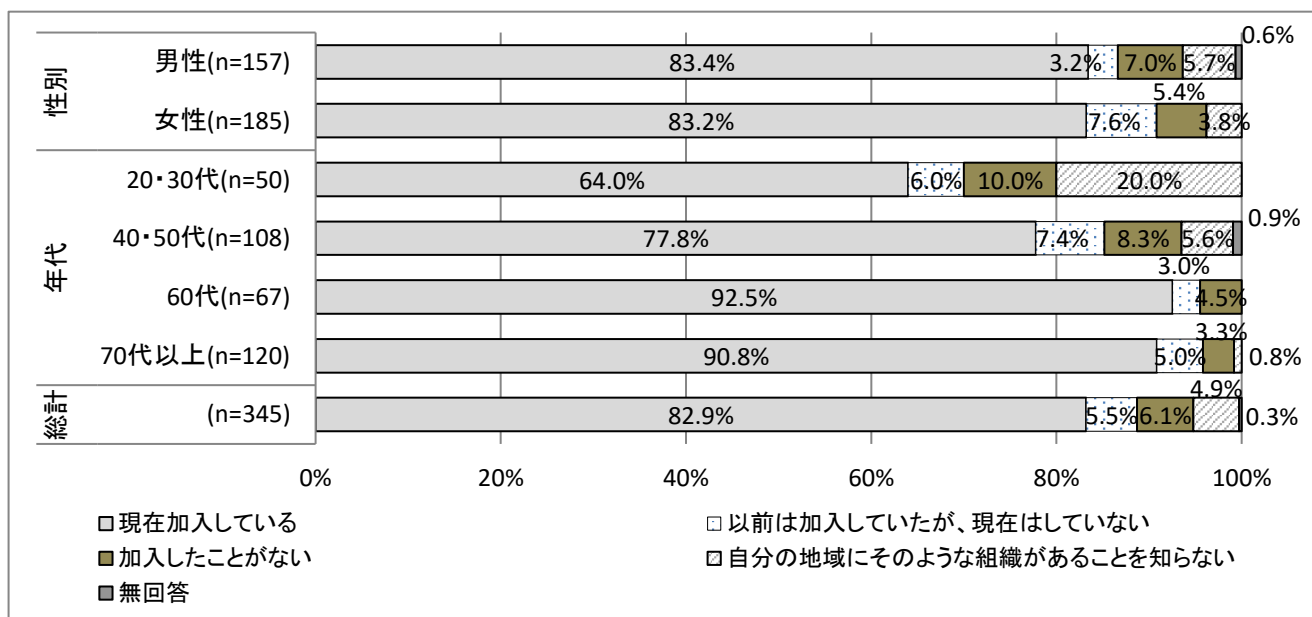
全体では「必要であると強く思う」が22%、「どちらかといえば必要だと思う」が60%で、合わせて約82%が支えあい活動を必要と考えている。60代・70代以上では約9割、20・30代では7割となっており、「強く思う」は70代以上が33%で最も高い。女性は男性より「強く思う」割合が高い。

問 10「支えあい活動」を充実させるために、どんな取り組みが必要だと思いますか（複数回答）



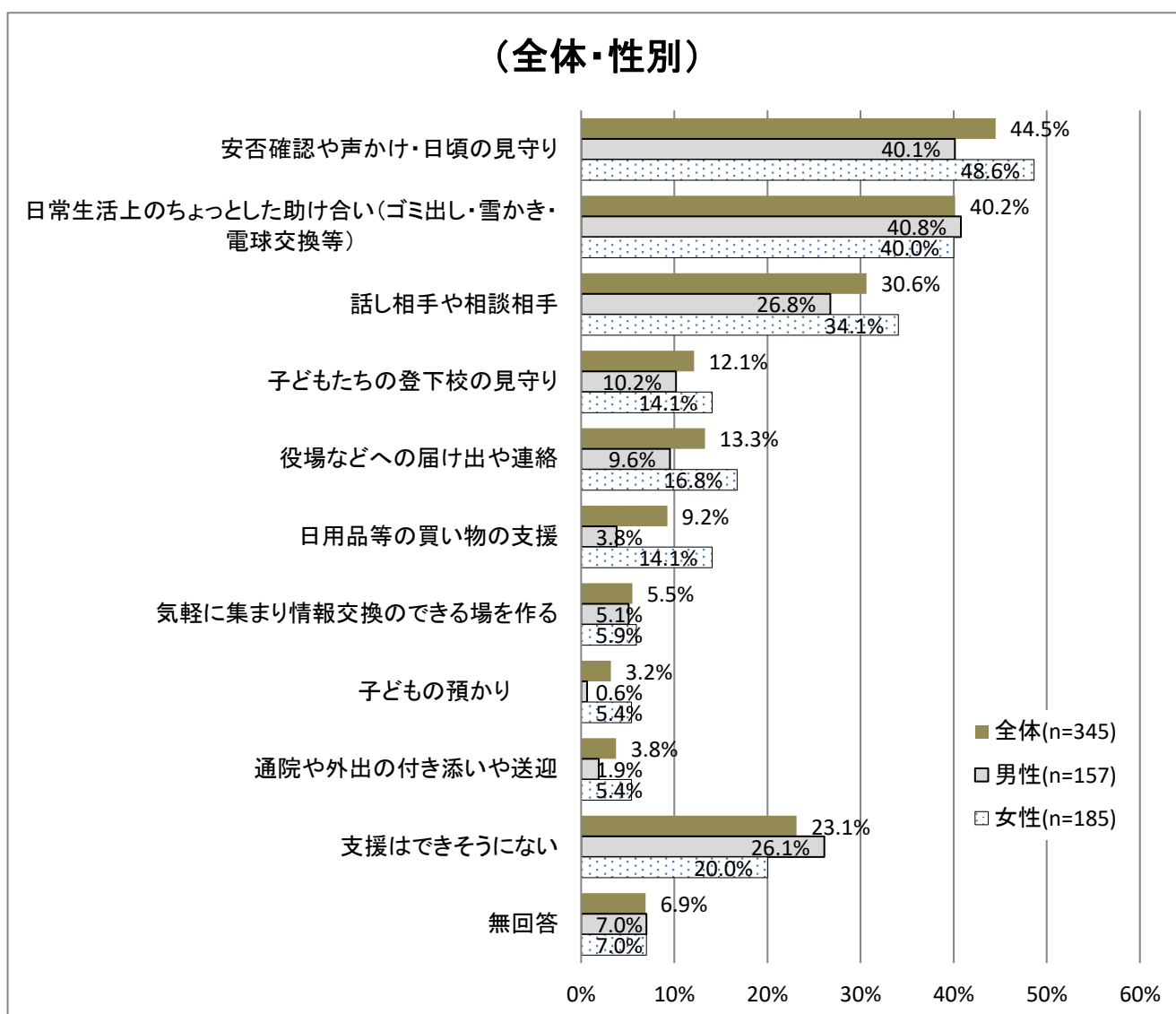
全体では「困りごとを把握する」39%、「交流の機会を増やす」36%、「困っている人と手助けする人をマッチングする」29%の順であった。「意識啓発・勉強会」は10%と低い。マッチングは女性37%、男性21%と差がみられる。

問 11 常会に加入していますか

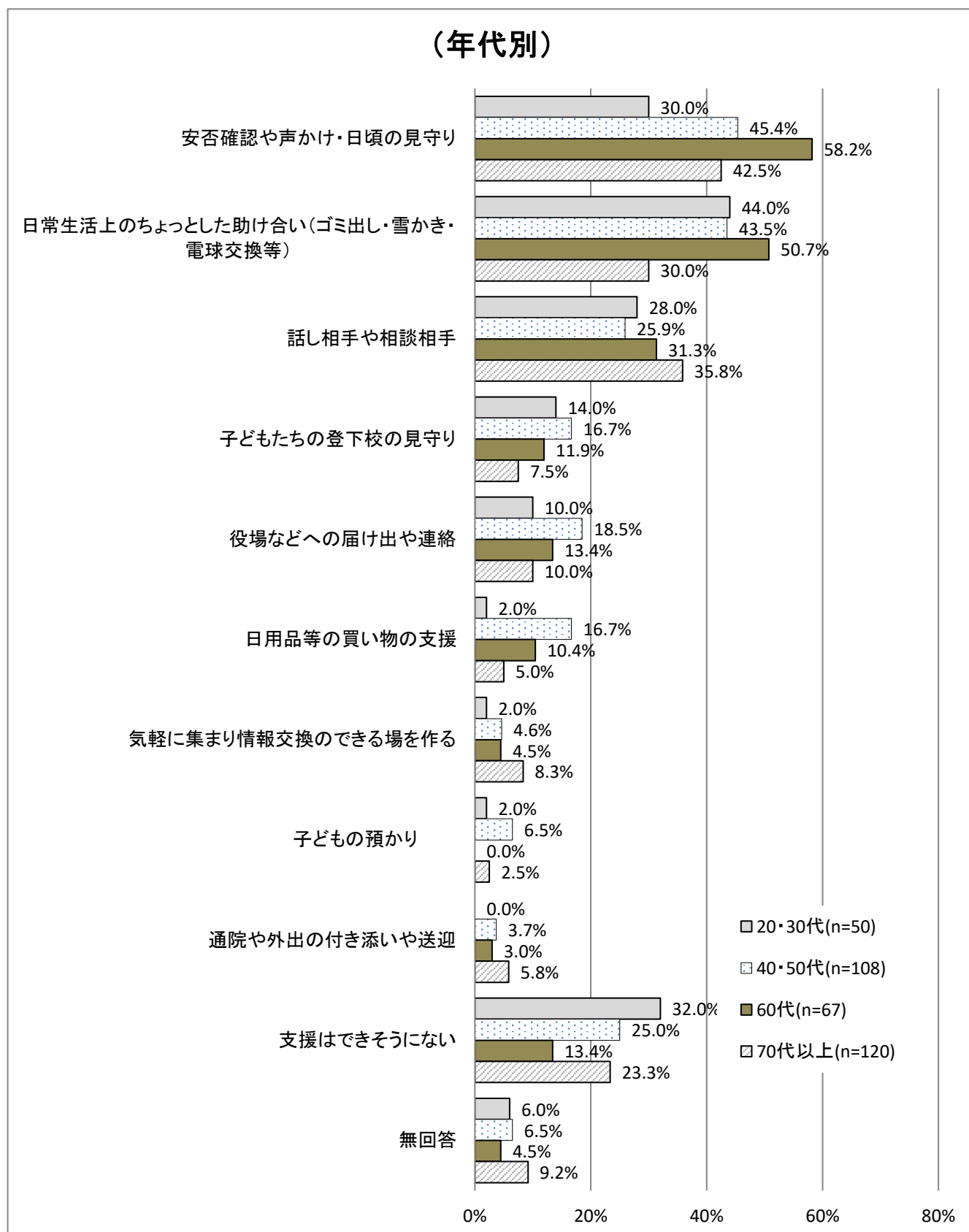


全体の 83% が常会に加入している。60 代以上では 9 割を超え、40・50 代は 78%、20・30 代は 64% となっている。20・30 代では「そのような組織があることを知らない」が 20% みられる。

問 12 ご近所の人困っているとき、あなたができることやできそうなことは何ですか。(複数選択)



ご近所の人困っているとき、あなたができることやできそうなことは何ですか。(複数選択)

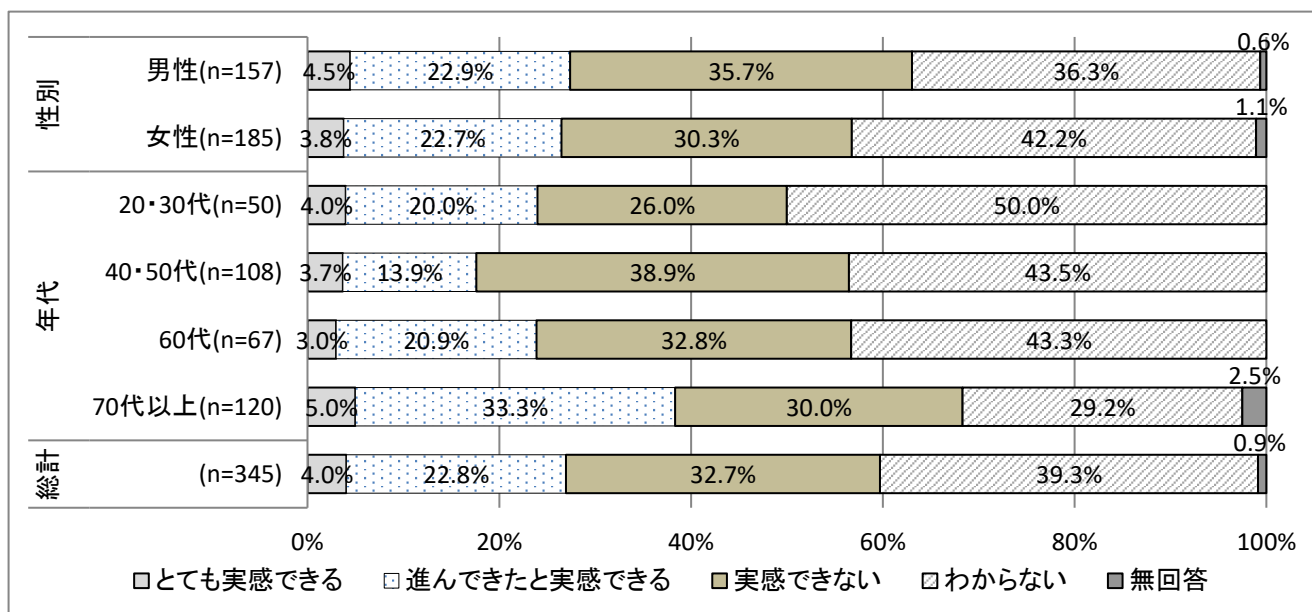


全体では「安否確認や声かけ・日頃の見守り」45%、「日常生活上のちょっとした助け合い」40%、「話し相手や相談相手」31%の順が多い。

年代別では、20・30代は「日常生活上のちょっとした助け合い」、60代は「安否確認や見守り」が特に多い。女性は男性より、安否確認や見守り、話し相手、買い物支援などを選ぶ割合がやや高い。

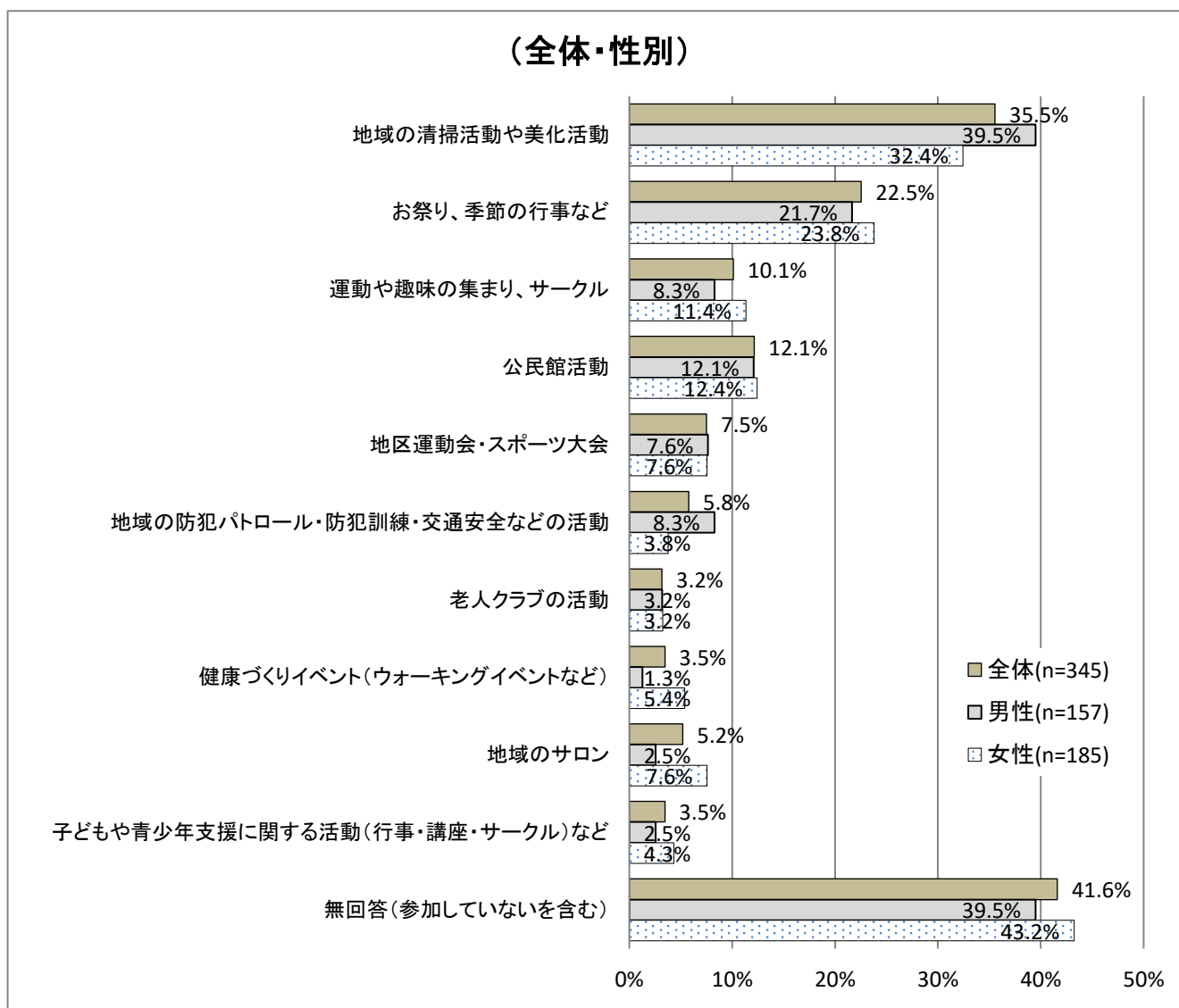
一方、「支援はできそうにない」は全体で23%で、20・30代では32%と最も高く、60代では13%と低い。子どもの預かりや通院・外出の付き添いは5%未満となっている。

問 13 平成 26 年から各区において「支えあい活動（ごみ出しや雪かきなどの支援）」の充実に取り組んでいます、普段の生活で実感できますか。

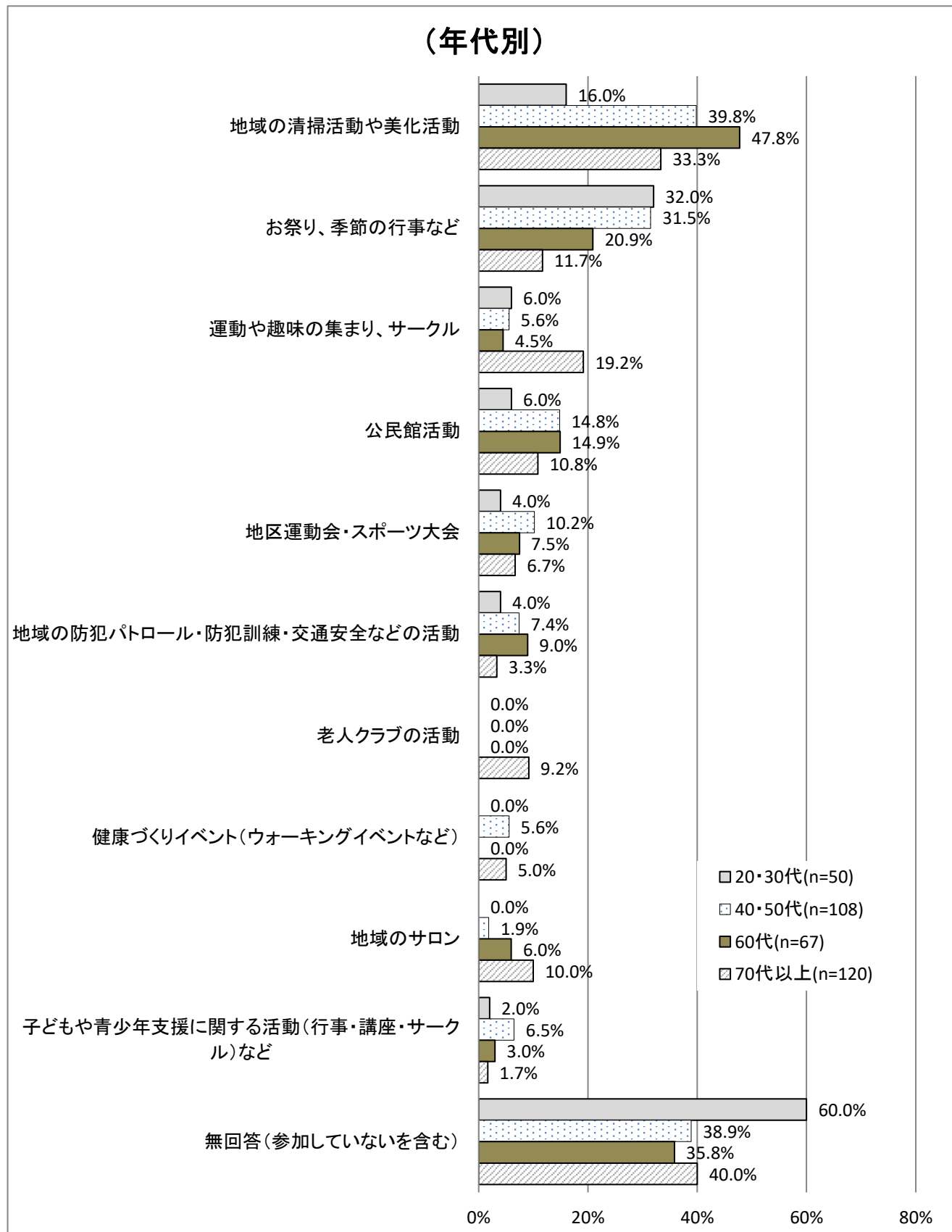


全体では「とても実感できる」「進んできた実感できる」を合わせて 27%で、「実感できない」33%、「わからない」39%となっている。年代別では 70 代以上の実感割合が 38%で最も高く、40・50 代は 18%と低い。

問 14 ここ 1 年以内で、あなたは地域で行われた活動に参加していますか。（複数選択）



ここ1年以内で、あなたは地域で行われた活動に 参加していますか。(複数選択)

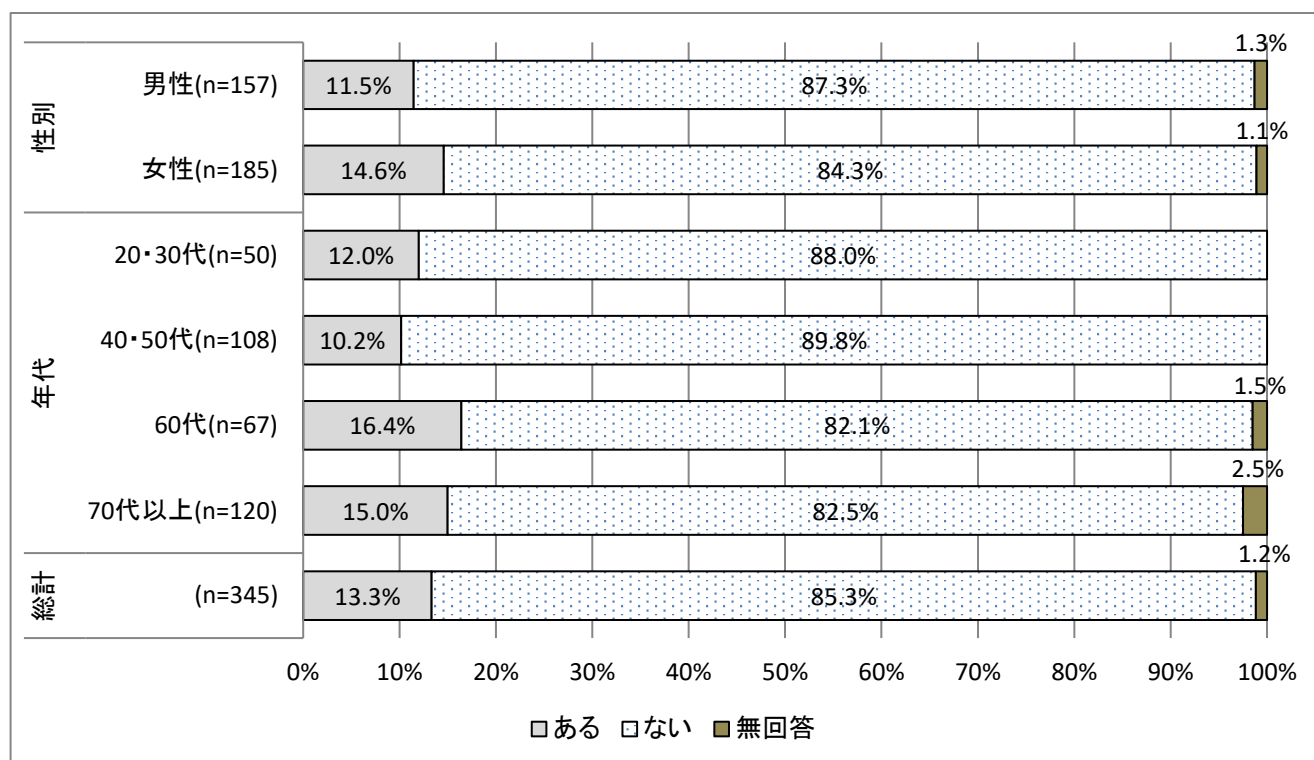


全体では「地域の清掃活動や美化活動」36%、「お祭り、季節の行事など」23%、「公民館活動」12%の順で多い。男女とも清掃・美化活動が最も多く、活動内容によって男女差もみられる。

20・30代は「お祭り、季節の行事など」が32%、40・50代と60代は「地域の清掃活動や美化活動」が最も多い。70代以上では「運動や趣味の集まり、サークル」が19%と他年代より高い。

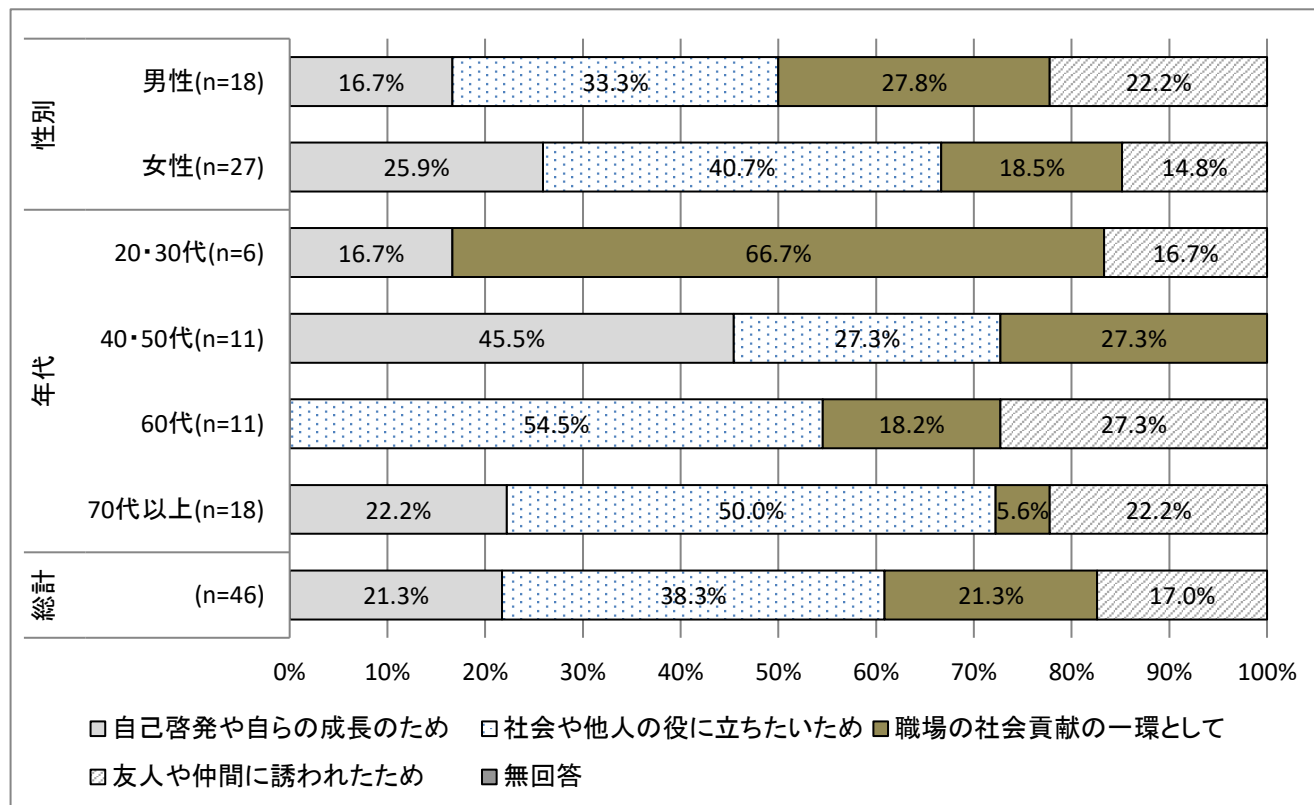
「無回答(参加していないを含む)」は全体で42%、20・30代では60%となっており、地域活動に参加していない層が一定数いることがわかる。

問 15 ここ 1 年の間にボランティア活動に携わったことがありますか。
※ただし地域の奉仕活動は対象外とします。



ここ 1 年間にボランティア活動に携わったことがある方は全体の 13%であった。年代別では 60 代が 16%で最も高く、70 代以上 15%、20・30 代 12%、40・50 代 10%となっている。

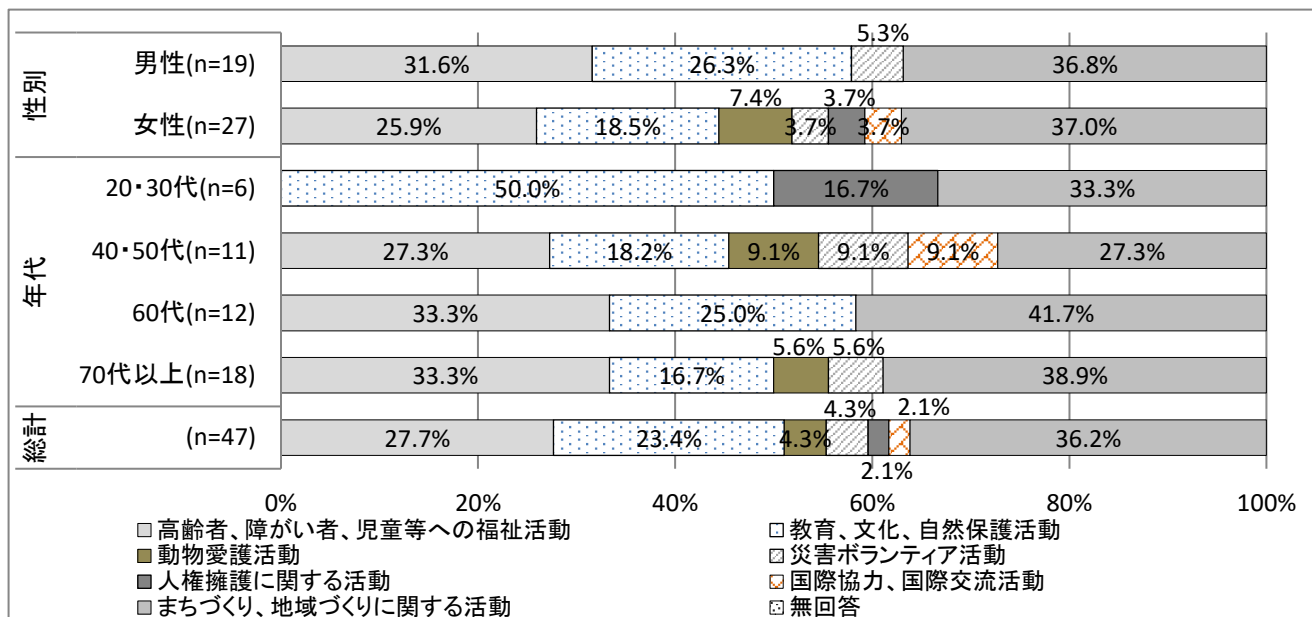
問 16 【問 15 で「1 ある」とお答えした方にお聞きします】
あなたがボランティア活動に参加をした理由は何ですか。(一番当てはまるもの 1 つに○)



全体では「社会や他人の役に立ちたいため」が 38%で最も多く、「自己啓発や自らの成長のため」と「職場の社会貢献の一環として」がともに 21%、「友人や仲間に誘われたため」が 17%であった。

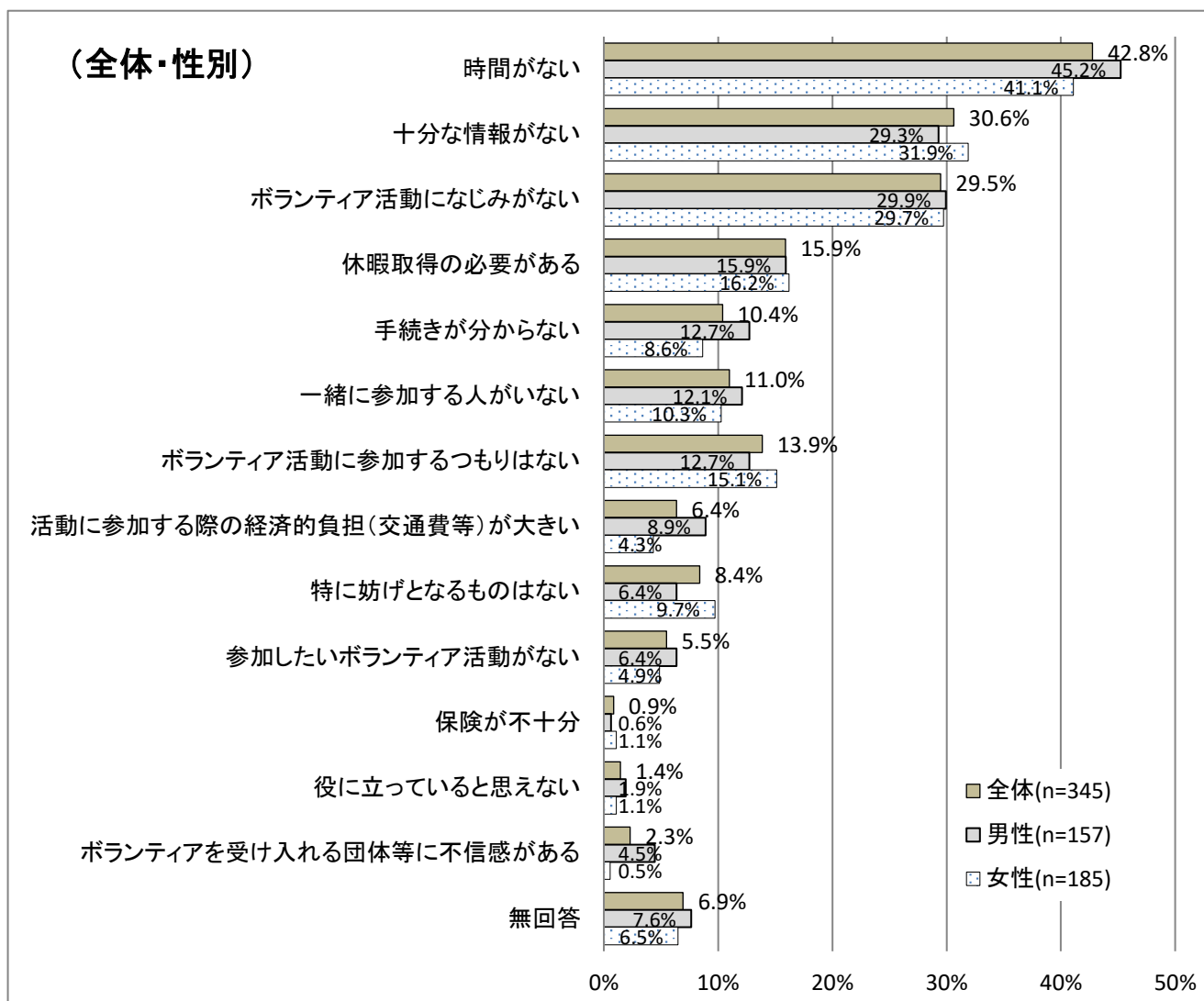
問 17 【問 15 で「 1 ある」とお答えした方にお聞きします】

あなたはどのような分野のボランティア活動に参加しましたか。（一番当てはまるもの1つに○）

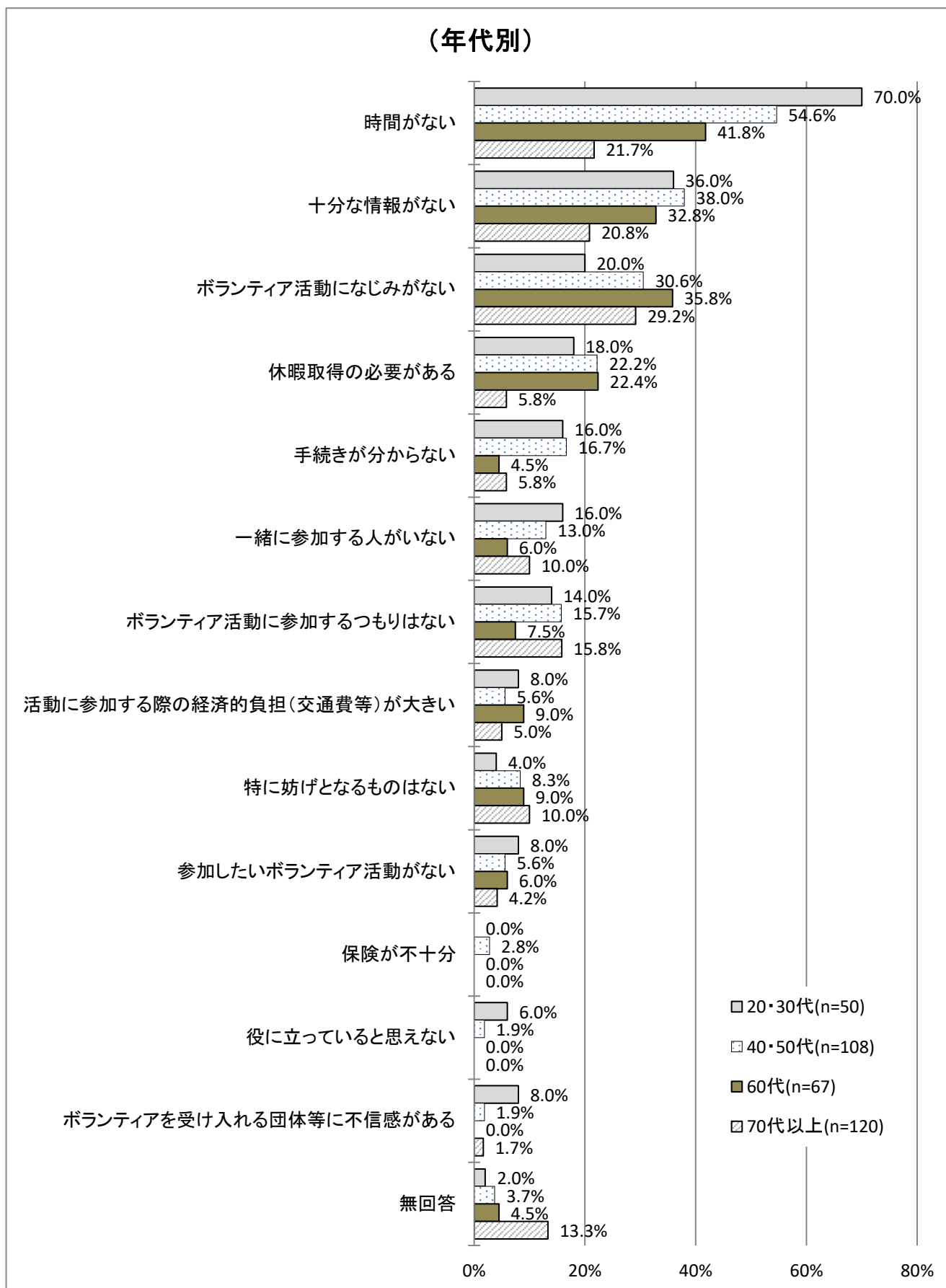


全体では「まちづくり、地域づくりに関する活動」が36%で最も多く、「高齢者、障がい者、児童等への福祉活動」28%、「教育、文化、自然保護活動」23%の順となっている。20・30代では教育・文化・自然保護活動が50%と多い。

問 18 ボランティア活動の参加の妨げとなるものは何ですか。（複数選択）



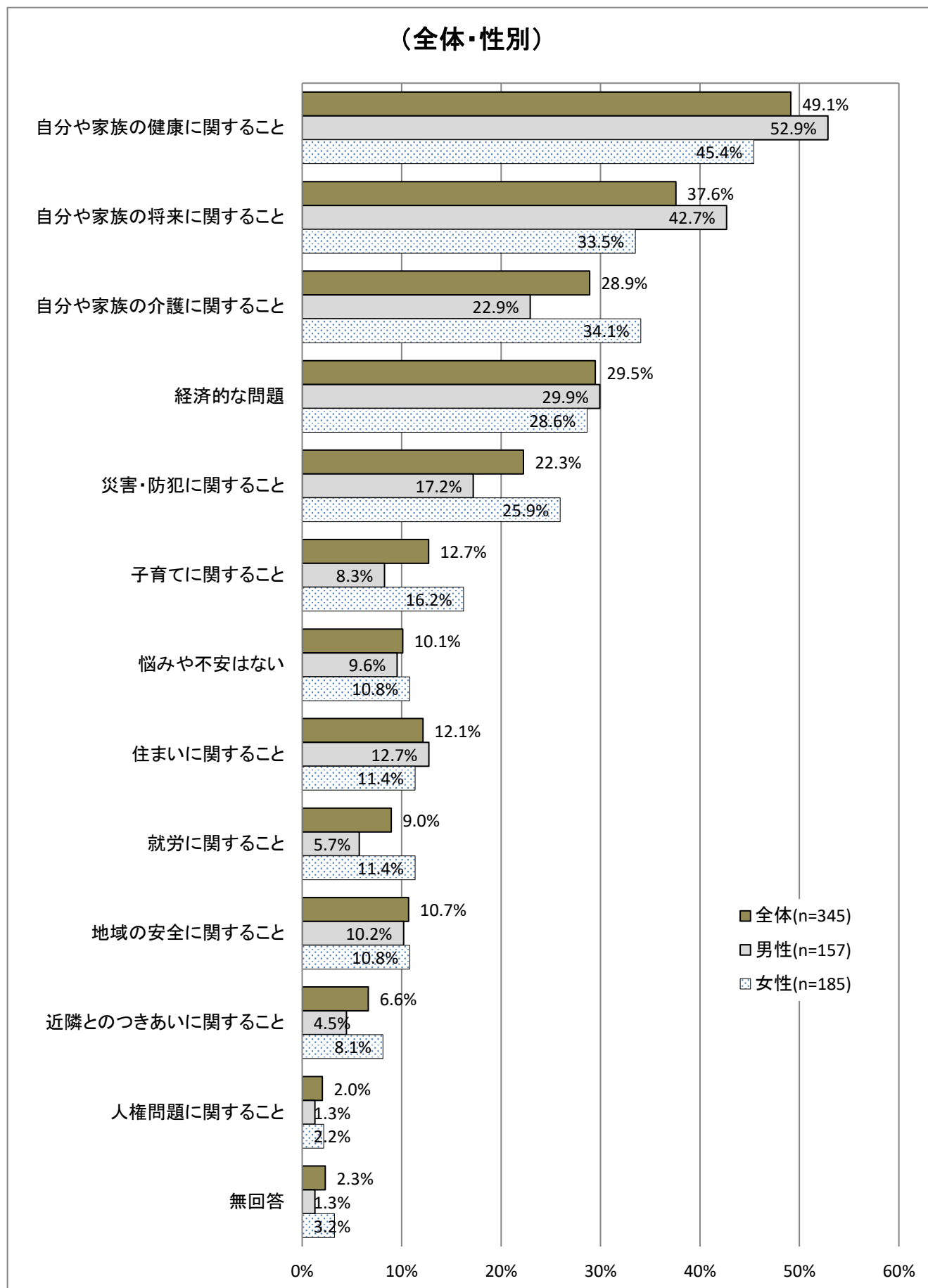
ボランティア活動の参加の妨げとなるものは何ですか（複数選択）



全体では「時間がない」43%、「十分な情報がない」31%、「ボランティア活動になじみがない」29%の順であった。「時間がない」は20・30代で70%、40・50代で55%と特に高い。

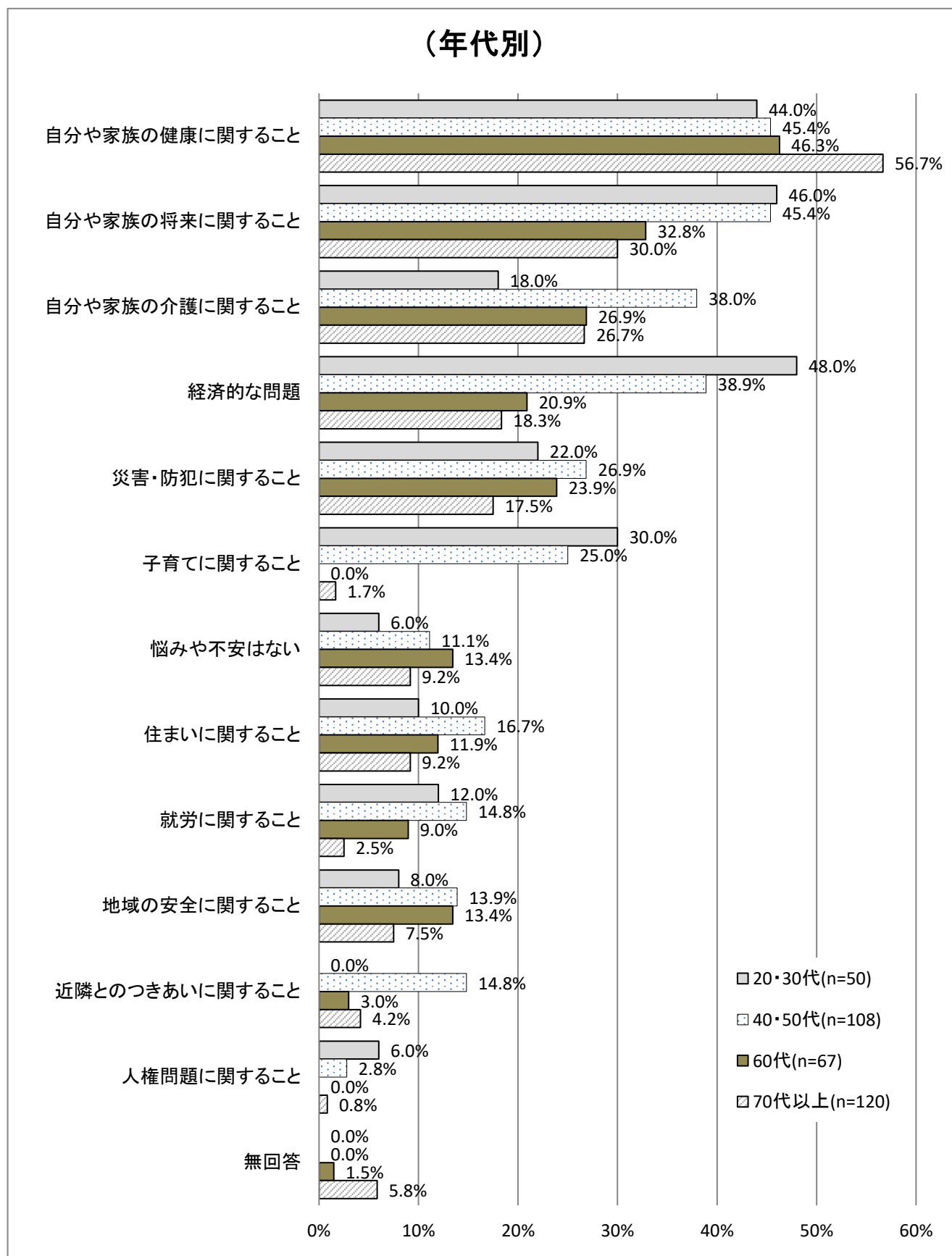
「ボランティア活動に参加するつもりはない」は全体で14%で、40・50代と70代以上では約16%、20・30代14%、60代8%となっている。

問 19 あなたは普段の暮らしの中で、どのような不安や悩みを感じていますか。(複数選択)



男女とも「自分や家族の健康に関すること」が最も多い。男性は「健康」「将来」、女性は「介護」「災害・防犯」「子育て」を選ぶ割合が相対的に高く、項目によって男女差がみられる。

あなたは普段の暮らしの中で、どのような不安や悩みを感じていますか。(複数選択)

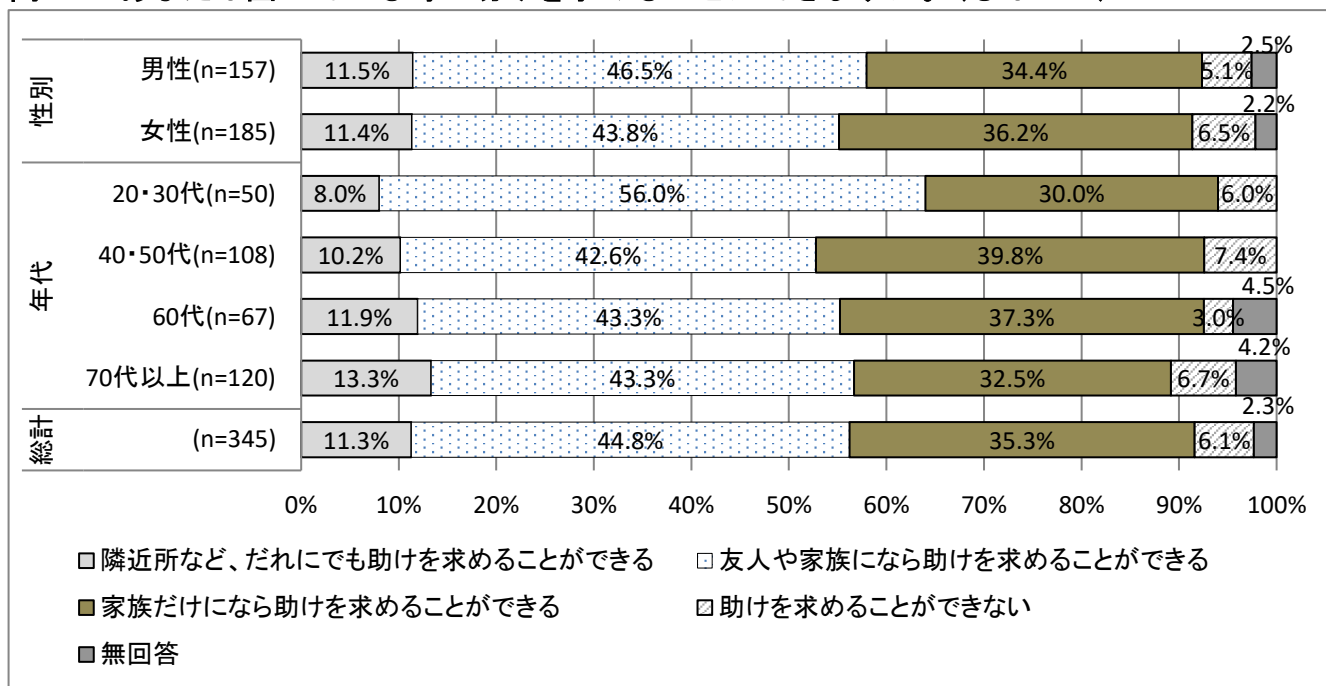


全体では「自分や家族の健康に関すること」49%、「自分や家族の将来に関すること」38%、「経済的な問題」30%、「自分や家族の介護に関すること」29%の順であった。

年代別では、健康に関する不安は70代以上で57%と最も高い。将来に関する不安は20・30代、40・50代で約45%、経済的な問題は20・30代48%、40・50代39%と若い年代で高い。

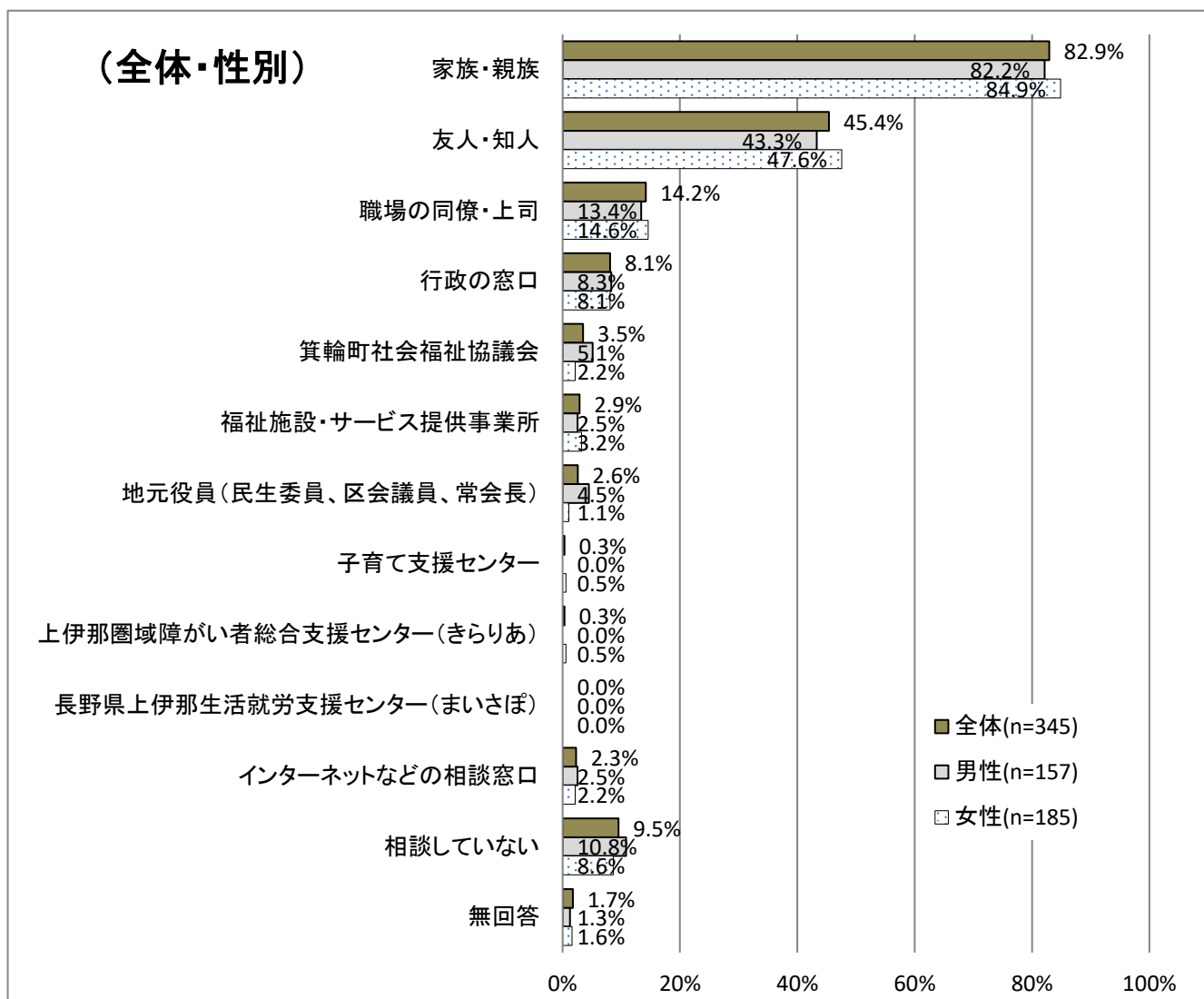
子育てに関する不安は20・30代30%、40・50代25%で、60代以上ではほとんどみられない。

問 20 あなたは困っている時に助けを求めることができますか。(〇は1つ)

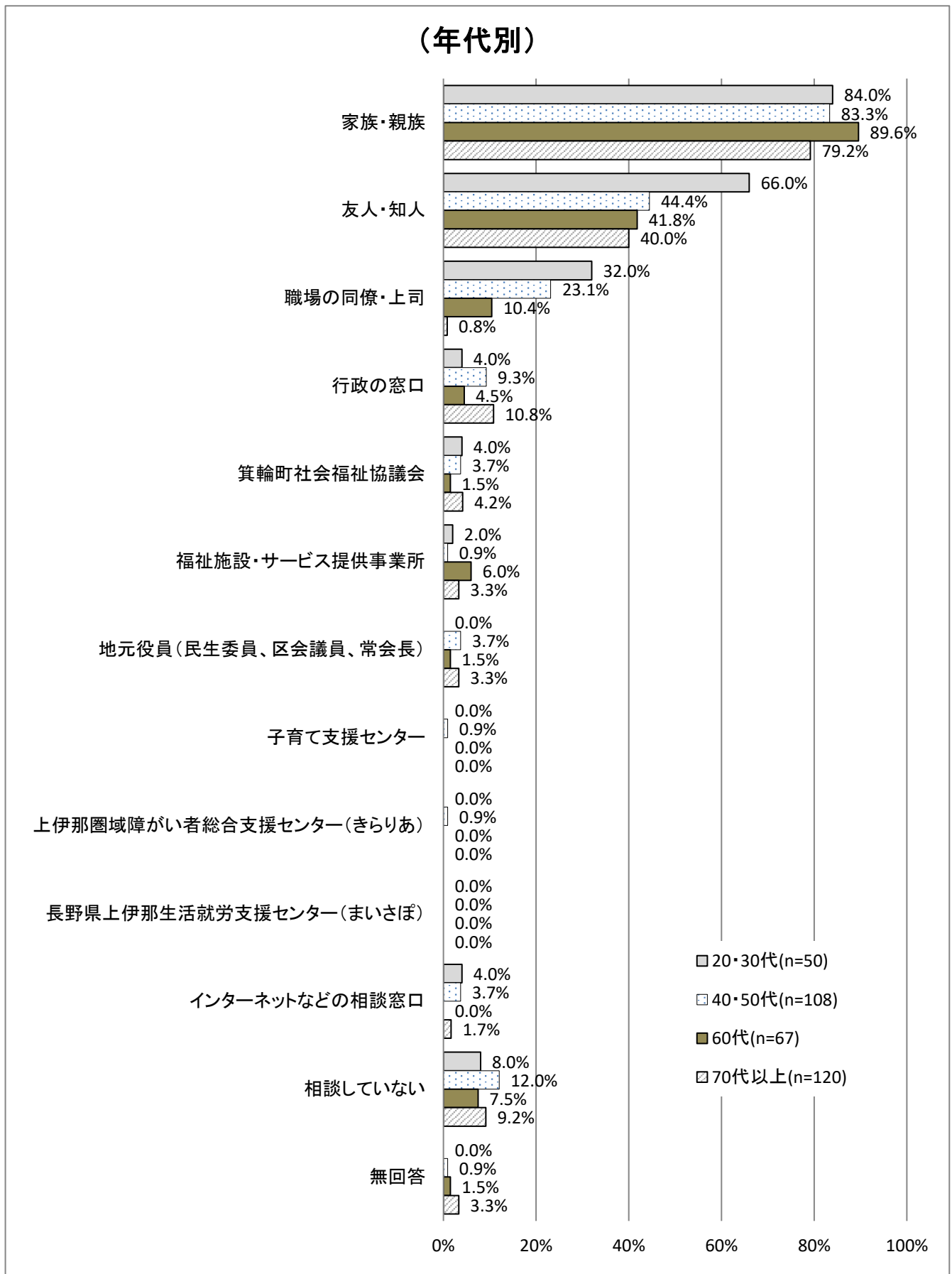


全体では「友人や家族になら助けを求めることができる」が45%で最も多く、「家族だけになら」が35%、「隣近所など、だれにでも」が11%の順である。「だれにでも」は年代が上がるにつれてやや増加し、6%は「助けを求めることができない」と回答している。

問 21 あなたが悩みや不安を感じた時や生活に困った時、誰に相談をしていますか。(複数選択)

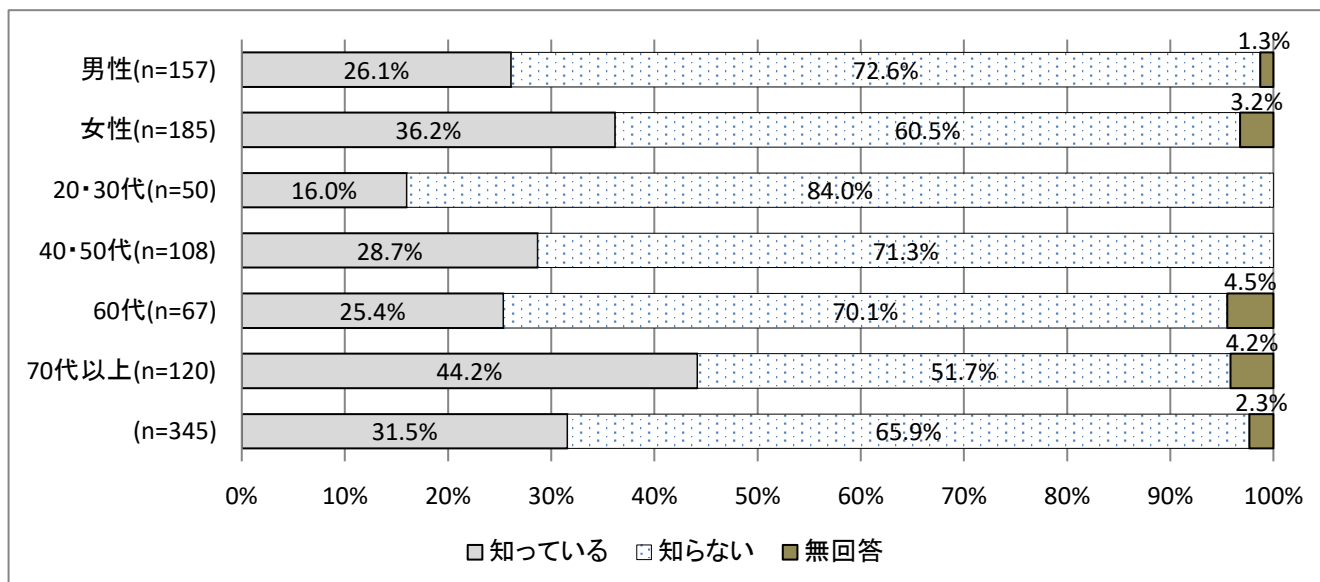


あなたが悩みや不安を感じた時や生活に困った時、誰に相談をしていますか。(複数選択)



全体では「家族・親族」83%、「友人・知人」45%、「職場の同僚・上司」14%の順で多い。行政の窓口は8%、社会福祉協議会は3%など、公的機関や事業所を相談先とする割合は1割以下である。男女差は大きくない。「相談していない」は全体で10%で、男性11%、女性9%となっている。年代別では40・50代が12%で最も高い。

問 22 「困りごと相談窓口」をご存知ですか。

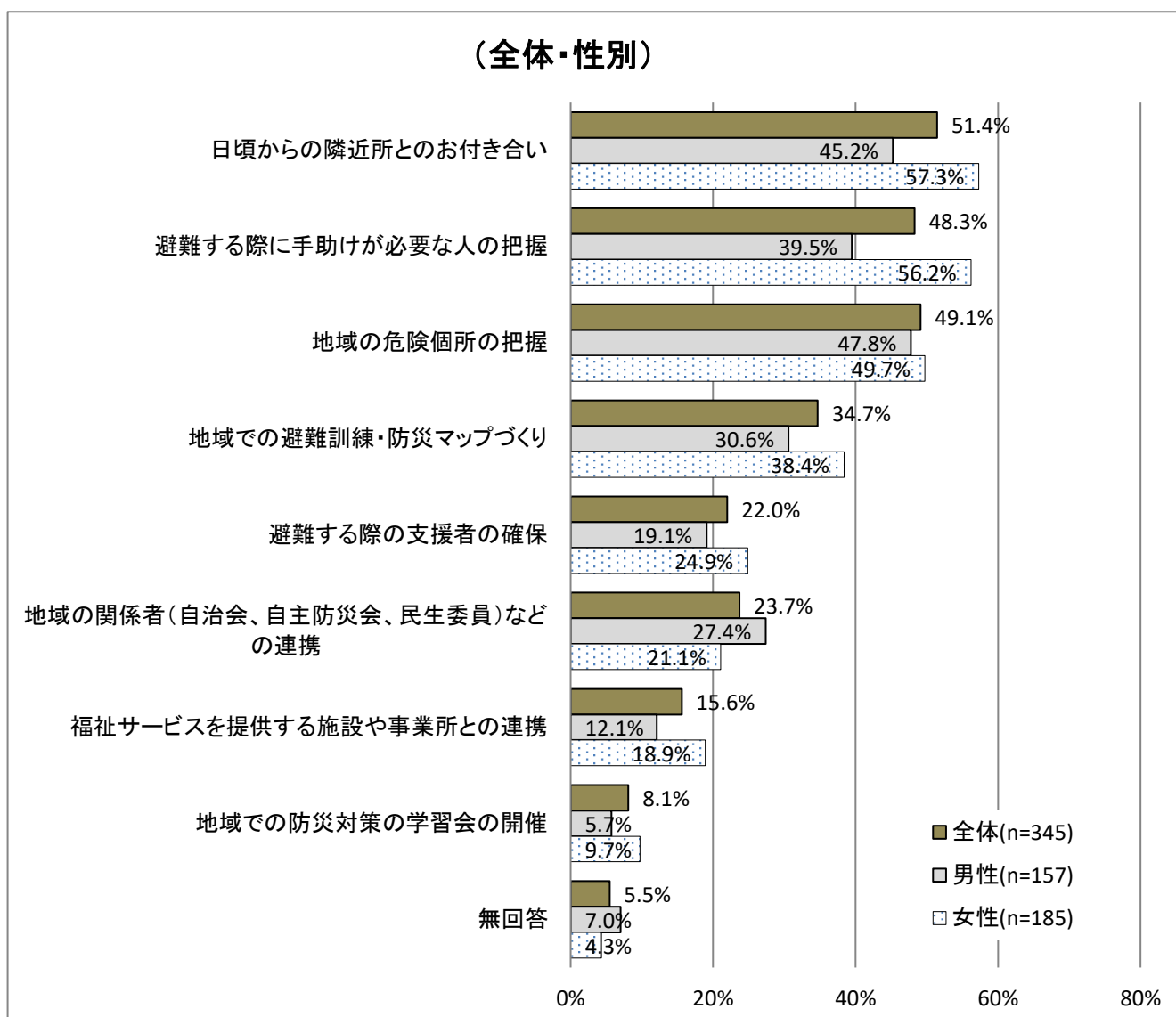


全体の 32%が「困りごと相談窓口※」を知っている。

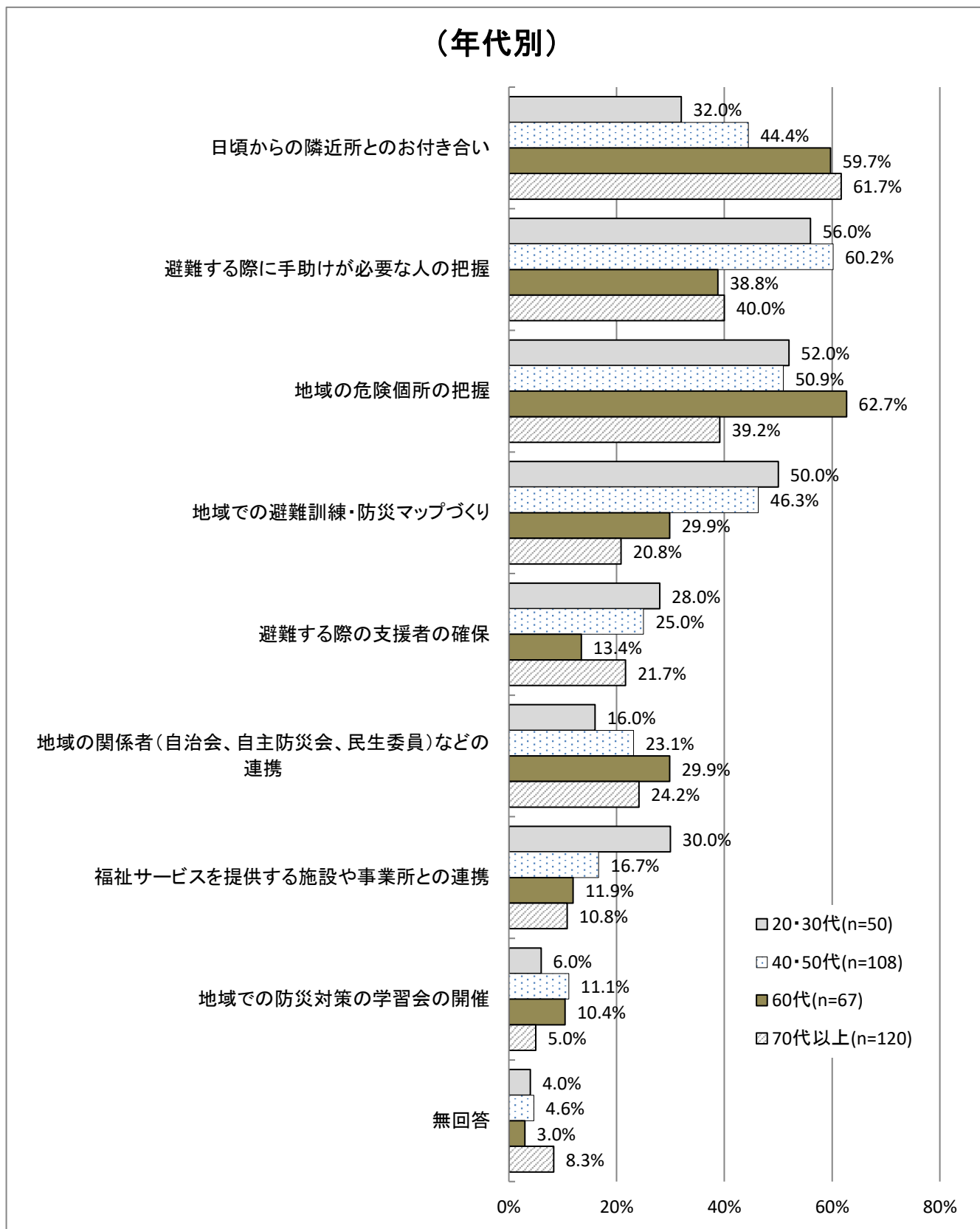
年代別では 70 代以上が 44%で最も高く、40・50 代 29%、60 代 25%、20・30 代 16%となっている。性別では女性 36%、男性 26%である。

※「困りごと相談窓口」は、役場や社会福祉協議会にある、病気や障がい、失業など様々な困りごとを気軽に相談できる窓口です。

問 23 災害時に住民が支えあう地域づくりに必要なものは何だと思いますか。(複数選択)



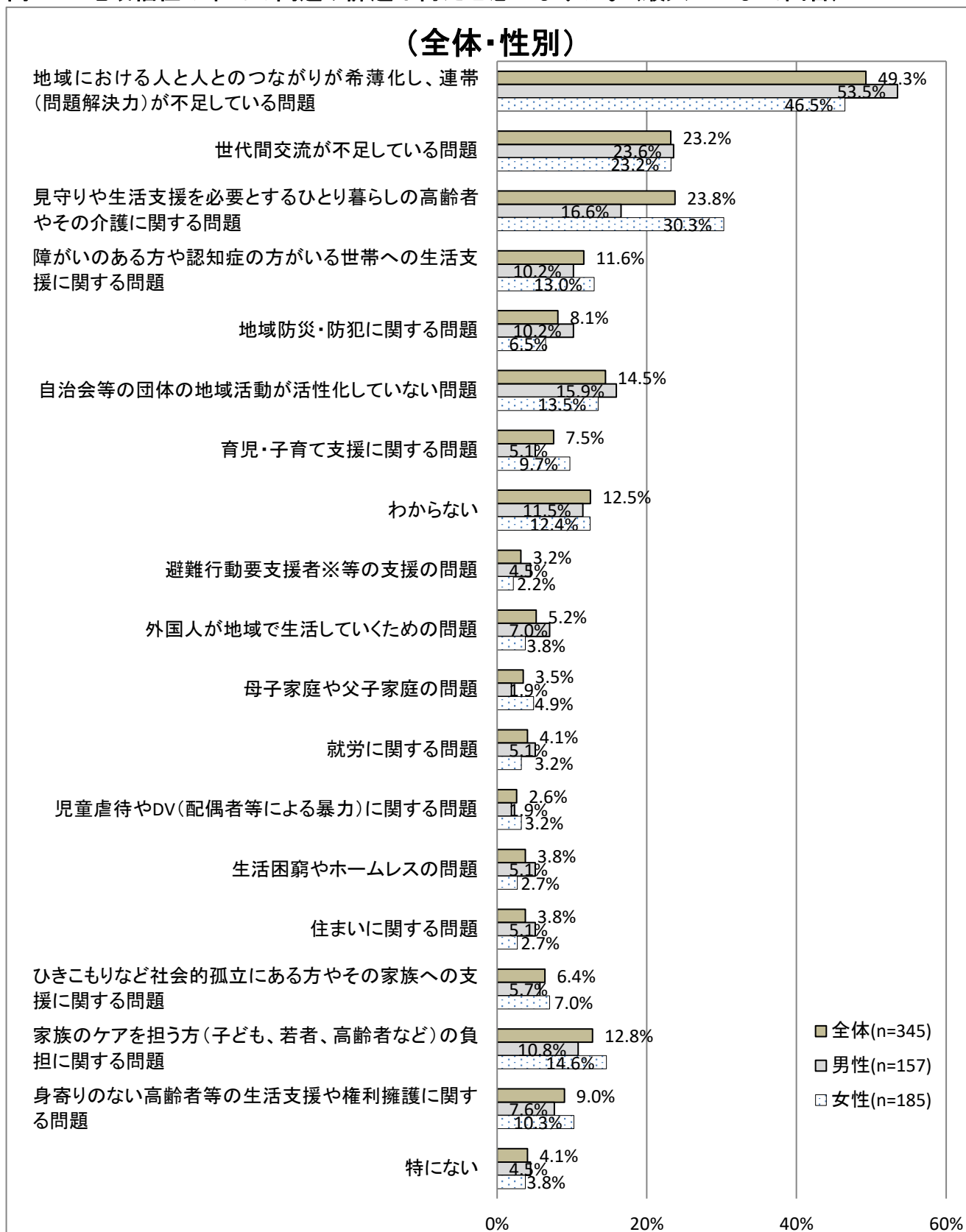
災害時に住民が支えあう地域づくりに必要なものは何だと思いますか（複数選択）



全体では「日頃からの隣近所とお付き合い」51%、「地域の危険個所の把握」49%、「避難する際に手助けが必要な人の把握」48%の順で多い。女性は男性より、隣近所との付き合いや手助けが必要な人の把握を選ぶ割合が高い。

年代別では「日頃からの隣近所とお付き合い」は60代・70代以上で約6割と高い。「手助けが必要な人の把握」や「避難訓練・防災マップづくり」は20～50代で高く、「地域の危険個所の把握」は60代で63%と最も高い。

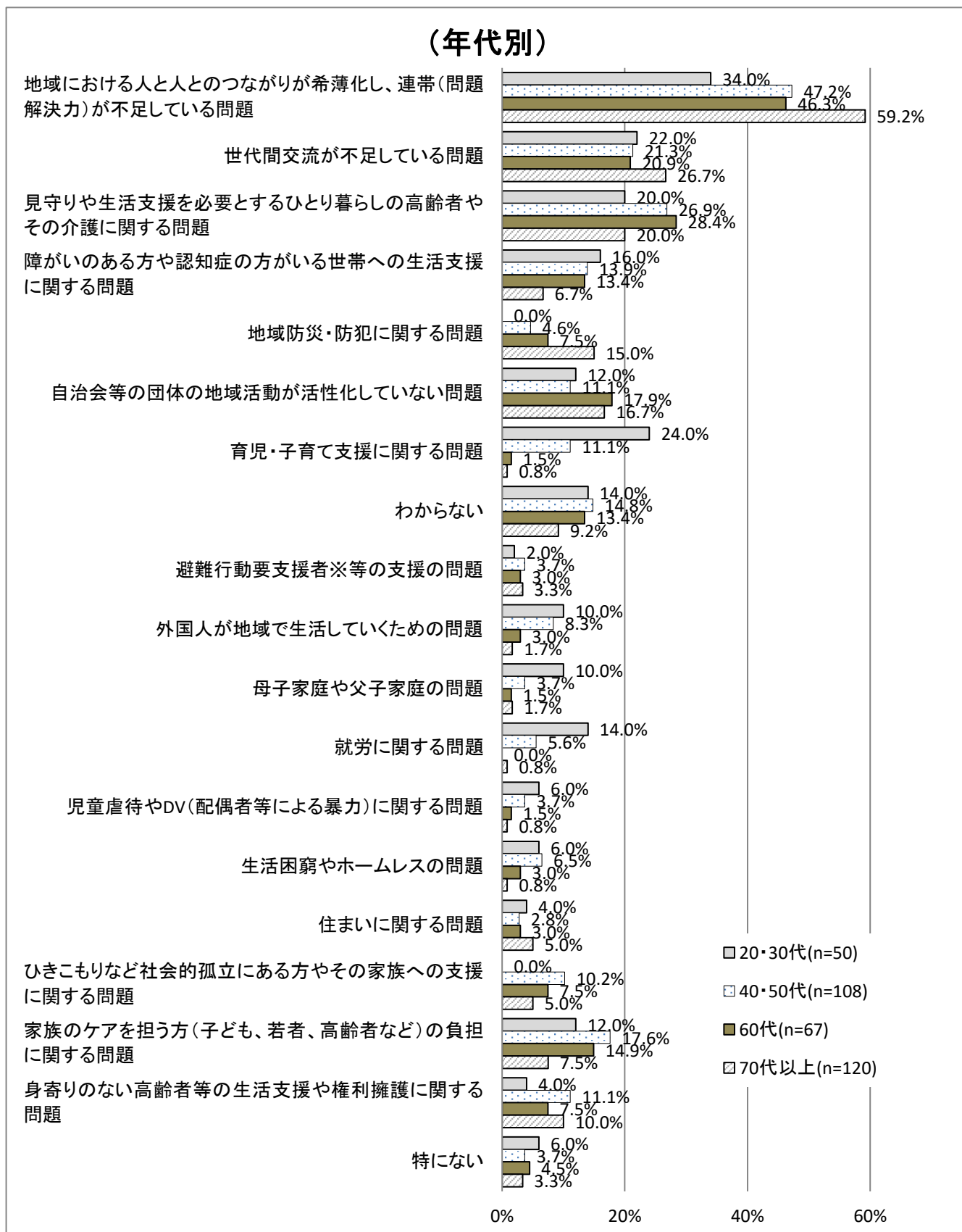
問 24 地域福祉の中での問題や課題は何だと思いますか。(最大3つまで回答)



全体では「地域における人と人とのつながりが希薄化し、連帯(問題解決力)が不足している問題」が49%で最も多く、次いで「見守りや生活支援を必要とするひとり暮らしの高齢者やその介護に関する問題」24%、「世代間交流が不足している問題」23%となっている。

男女とも「人と人とのつながりの希薄化」が最も多く、男性54%、女性47%である。女性は「ひとり暮らしの高齢者やその介護に関する問題」が30%と男性17%より高く、「家族のケアを担う方の負担」も女性15%、男性11%となっている。

地域福祉の中での問題や課題は何だと思いますか。(最大3つまで回答)



年代別では、すべての年代で「地域における人と人とのつながりが希薄化し、連帯(問題解決力)が不足している問題」が最も多い。20・30代ではこれに「育児・子育て支援に関する問題」「世代間交流が不足している問題」が続き、40・50代と60代では「ひとり暮らしの高齢者やその介護に関する問題」が2番目に多い。70代以上では「世代間交流が不足している問題」が2番目となっており、年代によって課題認識に違いがみられる。